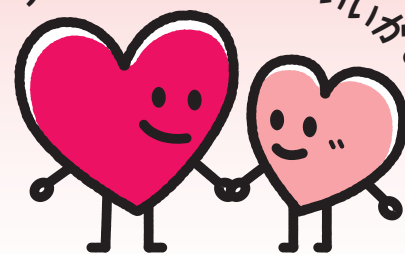


つるみ 鶴見・あいねっと

たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク

つるみで幸せに暮らすためのガイドブック

つながるってちょっといいかも

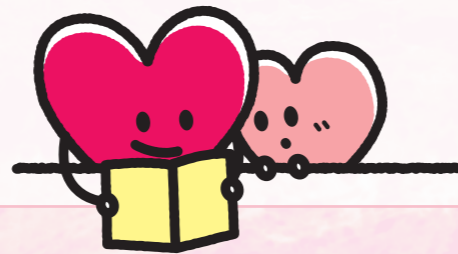


～この冊子を手にとったみなさまへ～

鶴見区には、いろいろな人が暮らしています。その中には、悩みごとや困りごとを抱えている人もいます。家族や友人に相談できる人もいれば、できない人もいるかもしれません。

日ごろからのつながりを通して、お互いに困りごとに気づき、必要な支援が届けられれば、誰もが安心して自分らしく暮らしていくことができますね。生き生きと活動できる場で、心や体を健やかに保つことも、大切にしていきたいですね。

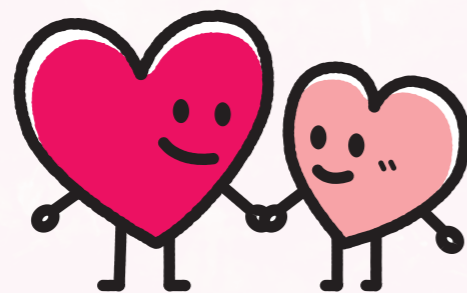
「鶴見・あいねっと」は、そうした思いをもとに、みなさん一人ひとりができることをまとめた計画です。まずは、「これならできそう」と思えることから、少しずつ始めてみませんか？



「鶴見区地域福祉保健計画」とは

鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）は、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、区民の皆さま、事業者、公的機関等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的とした計画です。第5期計画の計画期間は、令和8年度から令和12年度の5年間です。

「あいねっと」は計画の愛称で、公募で名づけられたんだよ。




「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められているんだよ。

あいねっとちゃんの紹介


鶴見・あいねっと

名前
ふたりあわせて
あいねっとちゃん
「あいちゃん」と「ねっとちゃん」じゃないよ



誕生日
平成17年
第1期計画から登場しています


性格
おっとり、のんびり
でもお祭りになると急にテンションが上がるよ

特技
地域みんなをつなぐこと




好きなこと

- ・みんなとお話すること
- ・三ツ池公園の芝生や鶴見川の河原でお昼寝すること
- ・こどもと遊ぶこと



なかま
鶴見のみんながなかま。鶴見区マスコット「ワックン」も親友だよ！
ともに鶴見のまちづくりを盛り上げているよ♪



メッセージ
みんながつながって、なかまになろう！

- はじめに 1
- あいねっとちゃんの紹介 2

1章 データで見る鶴見

- 鶴見区ってどんなまち? 5
- あいねっとちゃんの主観で語るつるみ区 6

2章 第5期 鶴見・あいねっとの方向性

- 「鶴見・あいねっと」とは 7
- 「鶴見・あいねっと」の構成 7

3章 区全体計画

柱Ⅰ つながり 9

～多様な人や団体が参加し、つながっている地域～

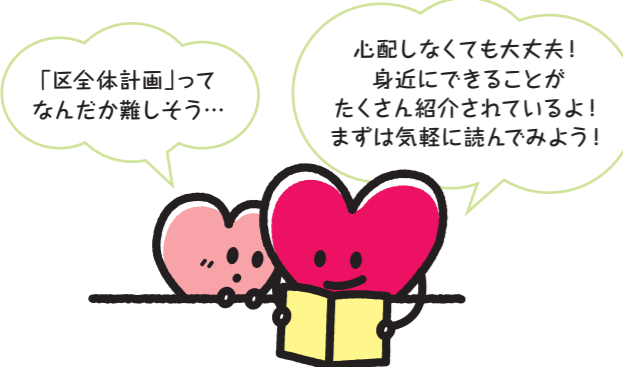
柱Ⅱ たすけあい 15

～困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域～

柱Ⅲ すこやか 23

～心も体も健やかでいられる地域～

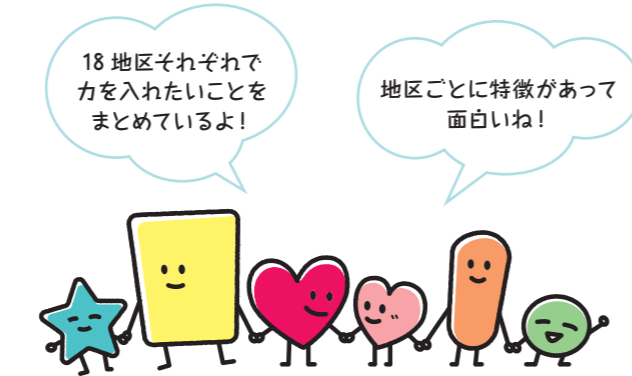
- 第5期計画の評価指標 27
- 市計画との関係 28



4章 地区別計画

- 地区別計画とは 29
- 各地区の地区別計画

矢向 31	市場 33
市場第二 35	鶴見中央 37
潮田中央 39	潮田東部 41
潮見橋 43	潮田西部 45
小野町 47	生麦第一 49
生麦第二 51	豊岡 53
寺尾 55	寺尾第二 57
駒岡 59	上末吉 61
下末吉 63	江ヶ崎 65



5章 第5期 鶴見・あいねっとの策定経過

- 第4期計画の振り返り 67
- 第5期計画に向けて 68

資料編

- 鶴見・あいねっと推進委員会委員等の団体紹介 69
- 鶴見・あいねっと推進委員会委員等 名簿 72
- 区民アンケート調査結果 73
- 相談先一覧 75

コラムテーマ一覧

鶴見区で実施されている様々な取組を5つのカテゴリ別にわかりやすく紹介しています

交流

地域でちょっとしたつながりを感じたい方へ

- 地域がつながるってどんなこと?? 9
- 地域のさまざまな団体が参画し、強みを生かしたつながりのあるまちへ 12
- 買い物支援と外出のきっかけづくり 14
- 外出が難しい地域での移動支援の取組 14
- あいさつ+ひとことで、周りの人と顔の見える関係を築いていこう 15
- 居場所が育む大きなつながり 24
- 健康づくりは"誰かと一緒に"が合言葉 24
- 地域活動の仲間を増やす工夫 30

支援

困ったときに頼れる場所を探している方へ

- 障害児・者とその家族が地域で生き生きと生活できる環境づくり 19
- 明るい社会をめざして...「社会を明るくする運動」 20
- 介護に関する課題のある方への支援 21
- 生活困窮者支援の取組 22
- 性的少数者(LGBT)の方等への支援 22
- 犯罪の被害にあわれた方への支援 22

担い手

地域のために一歩踏み出したい方へ

- 新たなチャレンジやつながりを応援する、自分らしくつながる 12
- 認知症であってもなくても地域で自分らしく暮らし続けられるために 17
- 支援者間のネットワークづくり 18
- 誰もがゲートキーパー 25
- ボランティア活動ははじめませんか? 26

子ども

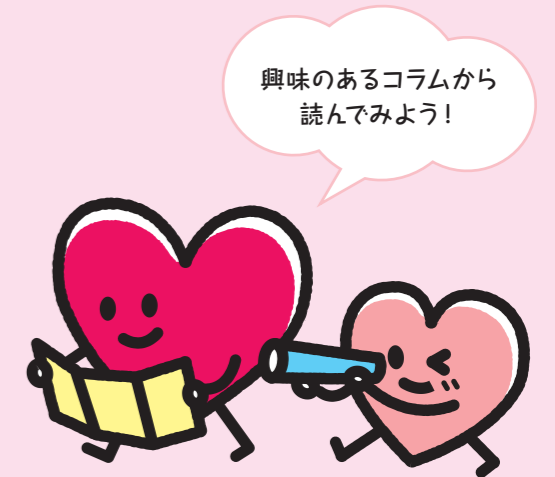
未来を担う子どもたちと、その成長を支える方々へ

- 自分たちのまちを自分たちで 10
- 子どもの居場所の提供を行う関係者のつながりづくり 13
- 放課後の居場所支援、子どもと大人がつながる場 14
- 子育て支援の取組 21
- "元気"のバトンをつなごう 23
- 子どもも大人も、みんなの居場所 24

相互理解

様々な人と向き合い理解を深めたい方へ

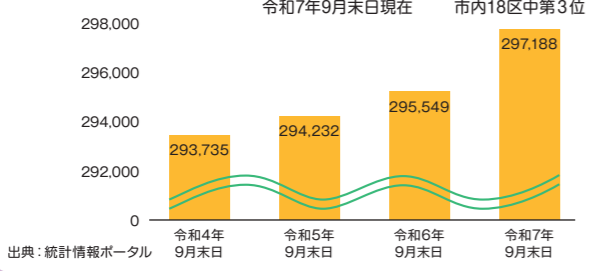
- 福祉に触れ、学び、関わるきっかけづくり 11
- 担い手不足の解消、企画のアウトソーシング 14
- いろいろな人と交流し、お互いの理解を深めていこう 16
- それぞれの人に合った防災への備えと支え合い 20



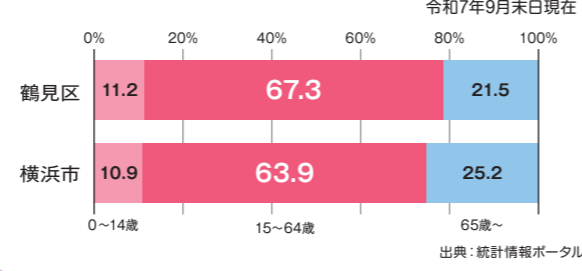
データで見る鶴見 鶴見区ってどんなまち？



人口 297,188人



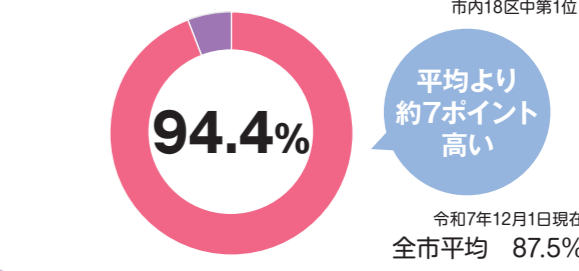
生産年齢人口比 67.3%



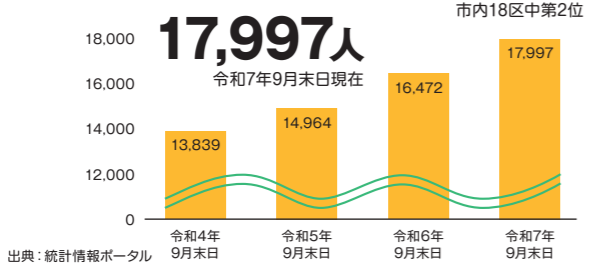
アンケートなどで子どもの意見を聞いている地区 15地区/18地区

あいねっと地区懇談会に子どもが参加している地区 3地区/18地区

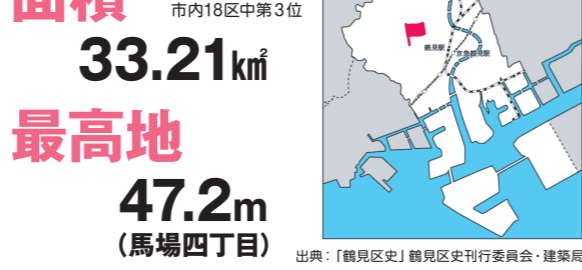
民生委員充足率 94.4%



外国籍の住民 17,997人



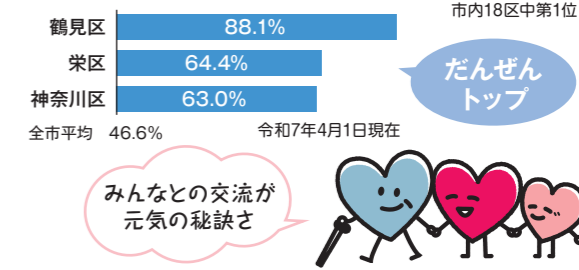
面積 33.21km²



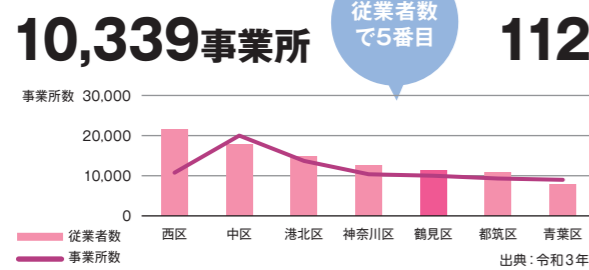
ボランティア団体 登録総数※ 延べ260団体

いつでも参加者募集中!

老人クラブ設置率 88.1%



事業所数 10,339事業所



鶴見区の自転車事故発生件数は横浜市18区中ワースト1位...

みんな安全に自転車に乗ろう!

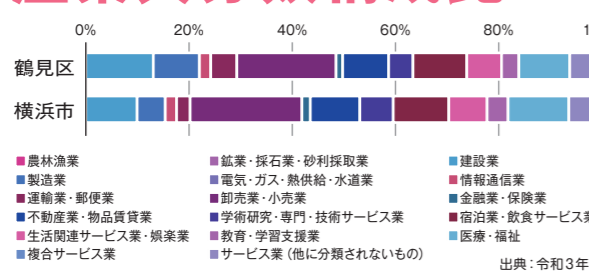
あいねっとちゃんの主観で語る つるみ区

歴史あるお祭りもたくさんあるよ!

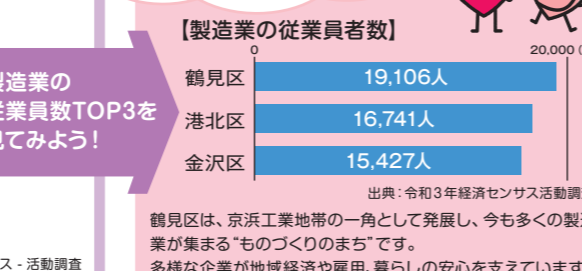
あくまでも主観だよ!

つるみ区民はとにかくお祭り好き!

産業大分類構成比



地域を支える「ものづくりのまち」鶴見



歴史と文化が息づくまち

鶴見には、古墳や貝塚など、古代の人々の暮らしや文化を伝える遺跡がたくさんあります。

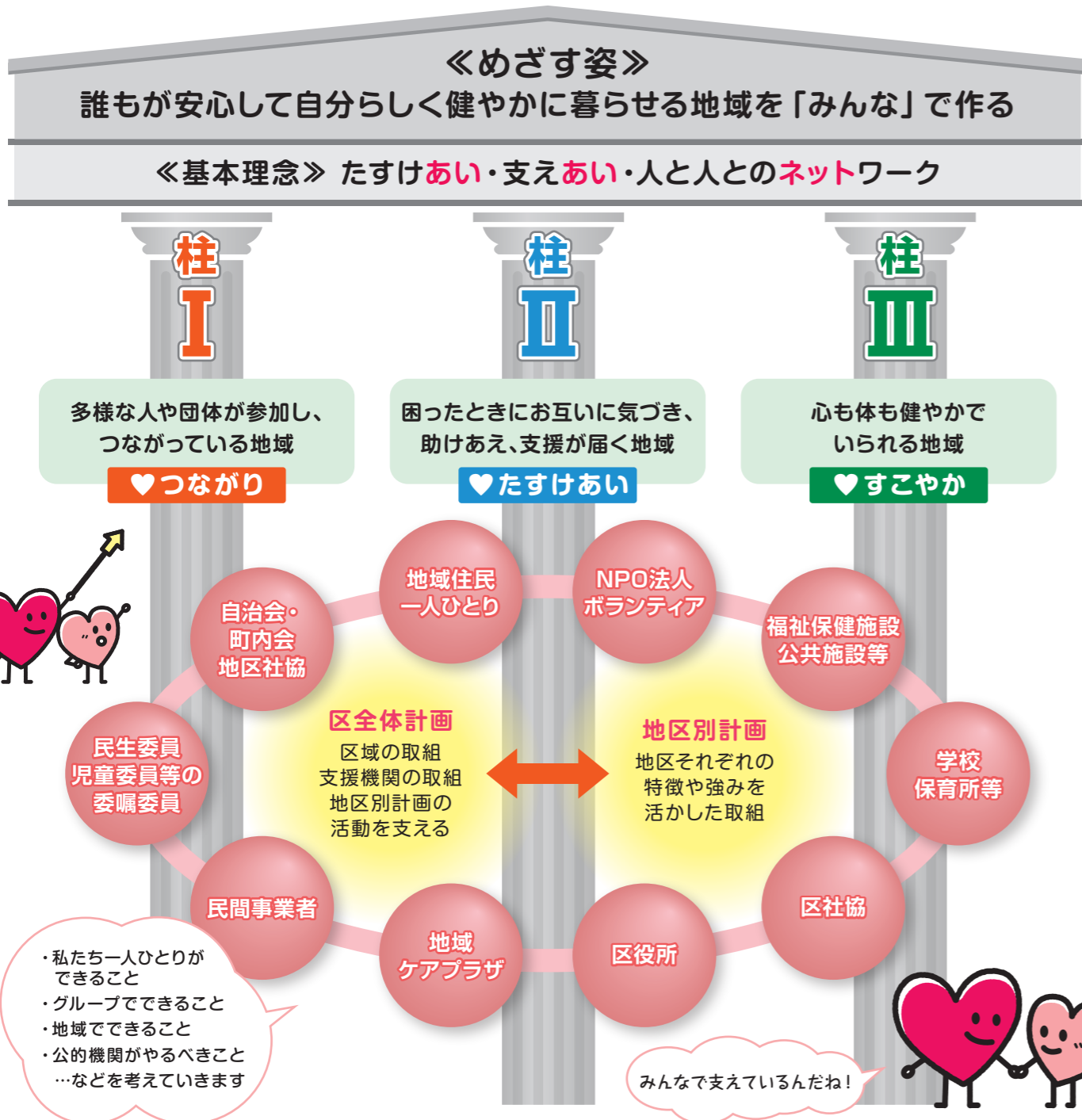
第5期鶴見・あいねっと (鶴見区地域福祉保健計画)の方向性

「鶴見・あいねっと」とは

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域を目指して、住民一人ひとりや地域活動団体、事業者、公的機関などが、それぞれにできることを「みんな」で取り組むための計画です。

「鶴見・あいねっと」の構成

- ・区全域で取り組む「区全体計画」は、「めざす姿」に向かうための3つの「柱」を設定しています。
- ・地区で話し合って策定した18の「地区別計画」は、地域みんなの想いを共有するものになっています。



柱Ⅰ

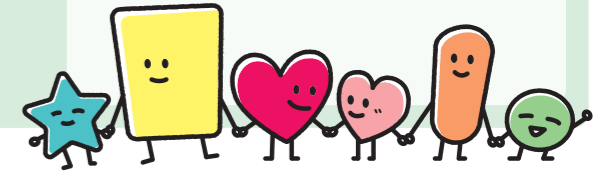
多様な人や団体が参加し、つながっている地域

♡つながり

地域での暮らしは、様々なつながりで成り立っています。
鶴見区には自治会・町内会はもちろん、学校、企業、NPO法人などの多様な団体があります。
その潜在能力を最大限に発揮できるように、これまで以上に様々な分野がつながっている地域を目指します。

【めざす姿】

- 子どもや子育て世代など、あらゆる世代が地域とつながっている
- 福祉の分野を超え、多様な団体同士がそれぞれの強みを生かし協力している
- 地域を支える人材が生まれる土壌がある
- 「つなぎ役」「コーディネート力」がいる・ある
- 新しい交流の形や機会が増えている



柱Ⅱ

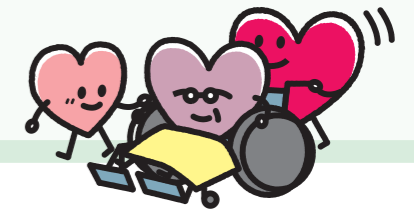
困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域

♡たすけあい

困りごとやその背景、必要とする支援は一人ひとり異なります。
相談先がわからない、困っていると言いづらい、そもそも自分が困っているのかわからないこともあります。
日ごろからの見守りと声かけを大切に、住民同士がお互いを理解し、困っているときに気づきあい、必要な支援につながる地域を目指します。

【めざす姿】

- 一人ひとりの多様な背景を相互に理解できる
- 日ごろの見守りから、困っている人に気づき、必要な情報を届けることができる
- 誰もが支える側、支えられる側になるような「お互いさま」の関係がある
- 支援機関や関係団体が連携できている



柱Ⅲ

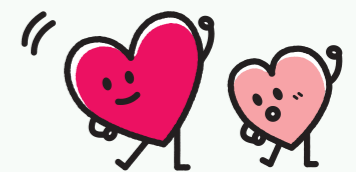
心も体も健やかでいられる地域

♡すこやか

一生を通して自分らしくいきいきと暮らすためには、一人ひとりが若いころから自身の健康を守る意識を持ち、取り組むことが大切です。
また、人との交流、生きがいや役割が持てる場や機会があることは、心の健やかさにもつながります。
一人ひとりが自ら身体と心の健やかさを保つことができる地域を目指します。

【めざす姿】

- 年齢や障害などに関わらず、その人の状態に合わせて健康づくりの場に参加できる
- 若いころから健康づくりに関われる
- 年齢や障害等に関わらず、ボランティアや地域活動等に参加し、居場所や役割が持てる機会がある



柱

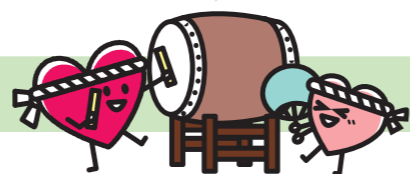
♥つながり

I 多様な人や団体が参加し、つながっている地域

めざす姿

- 子どもや子育て世代など、あらゆる世代が地域とつながっている
- 福祉の分野をこえ、多様な団体同士がそれぞれの強みを生かし協力している
- 地域を支える人材が生まれる土壌がある
- 「つなぎ役」「コーディネート力」がいる・ある
- 新しい交流の形や機会が増えている

鶴見は魅力的な行事がいろいろあるよね～



自分で・家族で

- ・地域に知り合いを増やしてみよう。まずはあいさつから！
- ・自分のやりたいこと、好きなことの情報地域掲示板、口コミ、SNSなどで探してみよう。
- ・防災訓練やお祭りなどの地域行事、地域での居場所・サロンなどに参加してみよう。

掲示板やホームページはいろいろな情報が満載だね



なかまで・地域で

- ・個人同士、団体同士など、お互いの強み弱みを共有して、一緒に取り組めることがないか考えてみよう。
- ・地域行事などについて、新しい人も参加しやすい内容や情報発信を考えてみよう。
- ・つながりが必要そうな人や団体を、他の活動をしている人や団体につなごう。できない時は、つなげるのが得意な人を探してみよう。

地域がつながるってどんなこと??

鶴見・あいねっと推進委員会では、「垣根をこえてつながるまち・鶴見をめざして」について話し合いました。

そもそも「垣根」とは何か？垣根は見えないものや、経済的なもの、子どもの有無、性別、国籍、いろいろな障害による垣根もあるとの話がありました。鶴見には、多様な人々、たくさんの団体・企業・事業所などがいて、様々なつながりが生まれるという強みがあります。

2027年には鶴見区制100周年を迎えます。それに向かって全力でみんなで行いたいことをやれば垣根をこえられるのではないかという声もありました。

つながりたい気持ちを後押しできる人や機会が増えるといいね！



自分たちのまちを自分たちで ～子どもと地域がつながる取組～

子どもたちから地域とつながることは、子どもたちの地域への愛着が芽生え、地域ぐるみで子どもを大切に、育てる風土づくりにつながります。区内の子どもたちの意見を取り入れた取組の一部を紹介します。

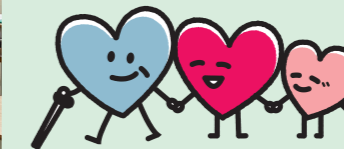
「地域と何ができる会？」

寺尾第二地区社会福祉協議会では「子どもの声、思いを直接聞きたい！」と、地域の中学校・小学校の生徒・児童を集め、意見を聞く機会を年に1度設けています。「地域にあったらいい居場所」として「なんでもはなせる、地域が寄りそう」カフェの提案があり、「はな♡そうカフェ」として実現しました。子どもたちの意見を取り入れながら企画・運営を子どもたちと一緒に、様々な世代でにぎわっています。

また、子どもたちと地域住民が一緒に行う「地域清掃」の提案もあり、「Let's Clean Tsurumi! (LCT!）」として実施されました。上の宮中学校の福祉委員会の生徒を中心に、活動の名称や清掃方法を検討。同校生徒だけでなく、小学校の児童、そして地域住民が参加し多世代交流の場となっています。自分たちのまちを自分たちできれいにすることでより地元への愛着が増したとの声も聞かれています。



福祉委員会にて話し合いを行う生徒のみなさん



はな♡そうカフェにてパンケーキをふるまう生徒のみなさん

矢向・江ヶ崎あいさつ運動

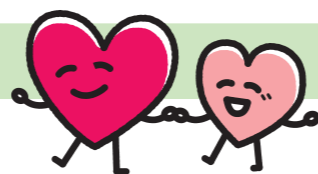
矢向地区社会福祉協議会、江ヶ崎地区社会福祉協議会では毎年、矢向小学校、新鶴見小学校の入学式の日に合わせて、町内会、民生委員、ボランティアとともにあいさつ運動を実施し、あいさつパンフレットを配布しています。あいさつをきっかけに、矢向、江ヶ崎地区の子どもと地域の大人たちが顔見知りになり、つながるきっかけになっています。



小学校前にてあいさつをするみなさん



あいさつ運動パンフレット

▶区役所・区社協・地域ケアプラザで**♥♥ 多様な担い手をつなげる支援をしていきます****共通の支援**

- 地域活動に関する講座、研修を開催し新たな担い手を発掘・育成します。
- 小中高大学と連携し、地域活動に興味を持ってもらえるような取組を行います。
- 自治会町内会、企業、学校、NPO法人、社会福祉法人、保育所など多様な主体と連携して取組を進めることで担い手の輪を広げていきます。

区役所

- 地域の中で様々な活動・団体を結びつけることができる人材を増やしていきます。
- 多様な主体が、様々な生活支援を行う体制づくりや、住民が担い手となる環境づくりを進めます。

区社協

- 自分の得意なこと、できることを生かせるような活動先のコーディネートやボランティア講座を開催します。また、地域活動の担い手と受け手がつながるようコーディネートします。
- 企業や働く世代など、地域とのつながりが持ちにくい人を地域活動につなげます。

地域ケアプラザ

- 地域のニーズに沿った事業を行い、様々な世代の交流を深めます。
- ケアプラザ内の各職種間で連携し、各種団体同士の交流や情報共有等の場・機会を通して、地域の中でつなぎ役となる人材を地域とともに育てていきます。

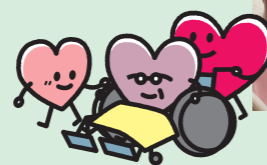
取組例

- 福祉のすそ野や活動の場をひろげる取組
ふくしの体験会、生活お役立ち講座など
- 地域活動の担い手育成の推進
キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座、子育てサポートシステム、区民講座「つるみ MACHI 塾」、生涯学習ボランティアバンク「鶴見人ネット」、鶴見・まちづくりゼミナール
- 包括連携協定を締結した大学との各種事業での連携など

福祉に触れ、学び、関わるきっかけづくり
～ふくしの体験会～

鶴見区社会福祉協議会では、子どもから大人まで、幅広い方に福祉に関心を持っていただくために「ふくしの体験会」を開催しています。

(障害のある)当事者講師による手話講座や視覚障害者の誘導体験、アニマルセラピーなど、体験やふれあいを通して、福祉に触れ、学ぶ機会となっています。



アニマルセラピー
犬のふれあい体験

新たなチャレンジやつながりを応援する、自分らしくつながる

～鶴見・まちづくりゼミナールや企業との連携～

『鶴見・まちづくりゼミナール』や『つるみ MACHI 塾』は、いつまでも住み続けたいまち・鶴見をつくるための体験型講座です。

経験豊富な講師や地域で活躍している先輩たちが、あなたの「何かしたい!」という思いの後押しをしてくれます。また、様々な担い手発掘や育成につながる講座になっています。



講座の中で「イベント開催」の疑似体験の様子

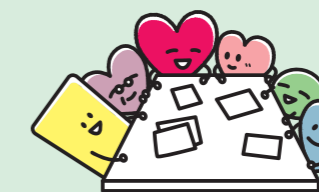
令和4年度の鶴見・まちづくりゼミナール受講生が、研修時に「一人暮らしの高齢者の方達のつながりづくりができないか・・・」という思いをプラン化。令和5年8月に自宅マンションの集会室でコミュニティカフェ「ハイレイズカフェ」を開きました。

一緒にお茶をして共通の関心事を話題にすることで、顔の見える関係からさらに関係性を深めることができています。

鶴見中央地区社協などから資金面の支援、困った時には鶴見中央地区ケアプラザからアドバイス等を受けて、運営を手伝ってくれる住民の輪をつくり、現在まで毎月1回(第4日曜日)のペースで続いています。



ハイレイズカフェにて日々の関心事を共有している様子

**地域のさまざまな団体が参画し、強みを生かしたつながりのあるまちへ**

～福祉機関や医療機関と住民との連携～

○ケアマネジャーと民生委員・児童委員交流会

各地域ケアプラザでは、顔の見える関係づくりを目的として、ケアマネジャーと日ごろ地域で見守り活動を行う民生委員・児童委員との交流会を開催しています。

福祉の専門職と住民のつながりができることで、支援や活動の幅がさらに充実していきます。



寺尾地域ケアプラザ
ケアマネジャーと民生委員・児童委員の交流会

○一人暮らし高齢者の食事会

一人暮らし高齢者を対象とした食事会では、民生委員が担当の高齢者宅への訪問や電話などによりお誘いを行っています。食事会では普段の暮らしの様子を伺い、参加者同士が交流する場にもなっています。気になる方がいたときは、地域包括支援センターへ相談をするなど、日ごろから相談できる関係づくりができています。

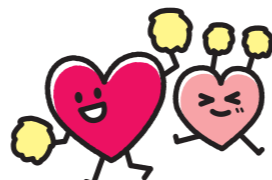


上末吉地区社会福祉協議会主催
高齢者食事会「やよい会」



《民生委員・児童委員》…地域の方々の身近な相談相手として、支援を必要とする住民、行政や専門機関をつなぐパイプ役となっています。自治会・町内会からの推薦により、厚生労働大臣が委嘱をしています。なお、民生委員は児童福祉法により児童委員を兼務しています。



**多様な主体とのネットワークづくりや、活動団体の応援をしていきます****共通の支援**

- 住民同士の交流が進み、地域の社会資源につながるきっかけができるよう、様々な人や団体が参加する事業・会議などの実施や支援を行います。

区役所

- 様々な関係者との連絡会を開催します。また、既存の活動が、既存の枠組みをこえた人々・団体とつながることで、活動内容が進化していくよう、つながりづくりを促していきます。
- 地域支援体制による担当地区への関わりを通して、地域のつながりがさらに深まり、地域活動が活性化するように支援します。支援にあたっては、地域ケアプラザをはじめとする施設職員と協働して行います。

区社協

- 区社協の会員同士の連携強化のため、分科会を横断した意見交換や、高齢者・障害者・子どもなど、各分野に渡る合同研修会を継続して実施します。
- 企業とNPO、事業所等と地域や団体を結び付け、新たな活動の創出につなげます。
- 活動団体への資金面での助成を行います。

地域ケアプラザ

- 地域住民による取組へのコーディネートや支援を行います。
- 会議、講座、行事などを通して、地域との顔の見える関係づくりを進めます。
- 医療や介護などの専門職間の連携を強めて、地域につながる橋渡し役を担います。
- 団体同士の連絡会などを通じて、お互いの活動を理解し連携できるよう支援します。
- 民生委員・児童委員、地区社協、食生活等改善委員（ヘルスメイト）、老人会、地域のサロンなど、地域の各種団体と協働しながら、講座や研修会などの取組を行います。

取組例

- 地域と企業をつなぐ取組支援** 移動支援、買い物支援、地域貢献応援セミナー
- 多世代での交流につながる行事・事業** 区民まつり、鶴見・あいねっと推進フォーラムなど
- 関係者との連絡会の開催**
健康づくり推進会議、地域ケア会議、虐待防止・認知症高齢者地域支援連絡会、自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会、地域子育て支援ネットワーク会議、ふらっとルーム連絡会、子どもの居場所連絡会など
- 様々な活動につながる支援** ふれあい助成金、情報発信

**子どもの居場所の提供を行う関係者のつながりづくり
～子どもの居場所連絡会～**

子ども食堂・学習支援など、学齢期の子どもへの支援を行う関係者の横のつながりづくり・情報交換・課題把握・情報提供のための子どもの居場所連絡会を開催しています。活動の悩み事や工夫を共有し、子どもの支援に関する仕組みづくりなどを話し合います。また、実施場所や日時等の情報をまとめて「鶴見区子どもの居場所一覧」を作成しています。連絡会には行政機関や区内地域ケアプラザ、企業など、地域活動を支援する団体や機関もたくさん参加しています。



子どもの居場所連絡会「食品衛生についての話」



詳しくはこちら
鶴見区子どもの居場所一覧
(子ども・地域食堂、
学習支援等)

企業や事業所等との分野をこえたコラボレーション**買い物支援と外出のきっかけづくり
～移動販売～**

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるための取組の一つとして、地域住民主体で事業者・地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所が協働し移動販売を実施しています。移動販売を通じて買い物支援だけでなく、見守り・健康づくり・地域コミュニティの形成を目指しています。

鶴見区内の移動販売について
鶴見区
移動販売について
鶴見区
移動販売について

詳しくはこちら

**外出が難しい地域での移動支援の取組
～相乗りタクシー～**

山坂が多く、移動に課題がある地域のイベントに、区内のタクシー事業者の協力により、自宅とイベント会場を相乗りタクシーで送迎をしています。日ごろ外出が難しい方も安心して外出するきっかけとなっています。

寺尾第二地区社協主催
お楽しみ福祉大会

山坂の多いエリアにお迎えに伺います

**担い手不足の解消、企画のアウトソーシング
～鶴見区二十歳を祝う会～**

担い手不足などを理由に一旦終了した鶴見区障害児者団体連合会（障団連）による「新成人のつどい」は、障団連の思いを引き継ぎ、地域の関係者が実行委員会として復活、実施しています。開催にあたっては、障害者福祉等への活用を目的とした寄付を活用し、企画や実施を区内の企業に委託しています。また、記念品や花束、お茶菓子は鶴見にゆかりのある企業や店舗から商品の寄付をいただくなど、関係機関の協力により実施しています。

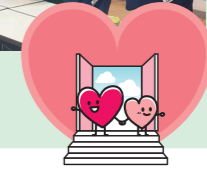
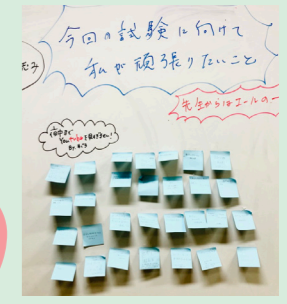


記念品を受けとる参加者

**放課後の居場所支援、子どもと大人がつながる場
～寛政中学びの居場所プロジェクト～**

寛政中学校校内で行われている「寛政中学びの居場所プロジェクト」は、地域学校協働本部の事業の一つとして、2024年にスタートをしました。一般社団法人 Omoshiro を中心に、鶴見区社会福祉協議会、潮田地域ケアプラザ、明治安田こころの健康財団などの多様な団体が参画をし、子どもたちが「気軽に」「ダイレクトに」「自分の意思で」人と場にふれる、つながれる機会を大切に活動しています。

居場所では、学習サポートだけにとどまらず、様々な講師による「私を私が大事にする大事にされる」を軸にしたコミュニケーション講座や寛政カフェ、地域の場での子ども食堂の開催などを企画。参加をした子どもたちからは、「居心地がいいあたたかい場所」「いつもは話さない人と安心して話せる場所」などの声が出ています。



困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域

めざす姿

- 一人ひとりの多様な背景を相互に理解できる
- 日ごろの見守りから、困っている人に気づき、必要な情報を届けることができる
- 誰もが支える側、支えられる側になるような「お互いさま」の関係がある
- 支援機関や関係団体が連携できている



自分で・家族で

- ・近所の人へのあいさつに、「ひとこと」足してみよう。
- ・地域にはいろいろな人がいること、それぞれ背景や必要な支援が異なることを理解しよう。
- ・将来の不安にそなえて、相談先の情報を知っておこう。
- ・困りごとは一人で抱え込まず、周りに相談して「助けられ上手」になろう。

身近なことでできることって
いろいろあるんだね

まずははじめの
一歩から♪



なかまで・地域で

- ・いろいろな人が交流できる場をつくって、お互いの理解を深めよう。
- ・日ごろから声をかけ合い、お互いを気にかけて、困っている人の合図をキャッチしよう。心配な変化があれば相談機関と一緒に考えよう。
- ・活動団体同士で情報を共有し、連携できることを一緒に考えていこう。
- ・必要な人に必要な情報を届けるための、情報発信の方法について工夫していこう。
- ・障害のある方など、誰もが地域イベントや防災訓練に参加できるように工夫していこう。

困った時は、お互いさまだね

助け上手・助けられ
上手になりたいな

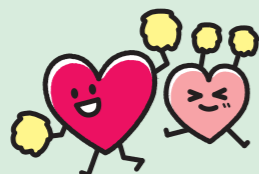


あいさつ+ひとことで、周りの人と顔の見える関係を築いていこう

～日ごろからの関係づくり～

顔見知りを増やすには、まずはあいさつから！あいさつを交わすだけでも気持ちのよいものですが、「プラスのひとこと」があると、もっと嬉しくなりますね。日ごろから声をかけ合える人を増やしておくことは、困ったときに助け合える仲間を増やすことにつながります。皆さんも今日から「あいさつ+ひとこと」、始めてみませんか？

「プラスのひとこと」があると、
もっと嬉しいね



あいさつって
気持ちがいいね！



いいお天気ですね

いつもありがとうございます

いってらっしゃい

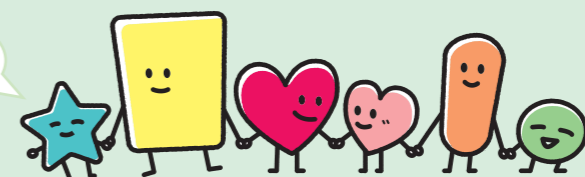
いろいろな人と交流し、お互いの理解を深めていこう

～多文化交流の取組～

鶴見区は外国にルーツを持つ方が多く、区民約 17 人に 1 人の割合となっています。ルーツも多様で、とても国際色豊かなまちになっています。

ルーツが違って、まずはお互いの背景や文化・習慣を理解し合うことで、困った時には助け合える関係を築くことができます。ここでは、区内の多文化交流の取組の一部をご紹介します。

違っていても



みんな仲間♪

「鶴見みんなの会」

「鶴見みんなの会」は、毎月第 2 土曜日 10:00～11:30 に鶴見中央地域ケアプラザで開催している多世代多文化交流サロンです。幼児を含む親子や小学生の参加も多く、外国にルーツを持つ方も参加しています。地域住民の方を中心とした企画会議には中高生ボランティアも参加。柔軟なアイデアがたくさん取り入れられています。

国際交流ラウンジの協力のもと、外国の遊びや文化も取り入れて、世代や文化の違いの垣根を超えて、みんなが楽しく過ごせる場所となっています。



潮田エリアにおける多文化交流の取組

多世代多文化交流、地域のネットワークづくり、防災や健康を考えるきっかけづくりを目的として、毎年 3 月に潮田公園で～つながりの街～ USHIODA フェスタが開催されています。多文化交流コーナーでは外国のお茶やお菓子がふるまわれ、楽しみながら地域に住む人たちの多様性を感じることができる機会となっています。

また、潮田西部地区では令和 7 年 7 月に、3 回目となる留学生と地域との交流会が開催されました。お互いの国の料理をふるまい、食文化に触れながら楽しく親交を深められる場となりました。



潮田中央地区の USHIODA フェスタの様子



潮田西部地区の留学生交流会の様子



区役所・区社協・地域ケアプラザで

お互いを理解し、気づき合えるしくみづくりを進めます

区役所

- 障害のある方や認知症の方とご家族たち、ヤングケアラー、ひきこもり状態にある方など、支援が必要であっても誰もが、地域の中で生き生きと暮らせる環境づくりを進めます。
- 多文化共生への理解を深めるための取組を進めます。
- 地域での見守り・支え合いの取組を充実させます。

区社協

- 福祉教育や啓発イベントなどを通じて、障害のある方や外国につながる方など多様な立場の方への理解を深め、「共に生活する」ことへの意識づくりを進めます。
- 自治会町内会の見守り活動などの情報を地域の方々と共有し、より幅広い世代の参加を促します。

地域ケアプラザ

- 地域の見守り活動との連携をひろげ、子どもから高齢者・障害者まで身近な場所でのネットワークづくりを支援します。
- 住民同士がお互いにゆるやかに見守り合えるような地域づくりを進めます。
- 地域の一員として積極的に地域活動に協力し、地域を盛り上げていきます。
- 高齢者・障害者等に対する理解促進や交流の機会をつくります。

取組例

- **障害者支援の推進**
自立支援協議会・各部会、障害児関係機関連絡会、障害福祉施設等による自主製品販売支援、障害者週間、障害理解のための講座など
- **認知症の理解促進及び見守り体制の構築**
認知症サポーター養成講座の開催、チームオレンジの推進、認知症高齢者等 SOS ネットワークの充実など
- **多文化共生への理解促進**
区民向け多文化共生啓発イベント、鶴見国際交流ラウンジでの交流など
- **ひとり暮らし高齢者等への見守り活動**
「広げよう見守りの輪」推進事業など
- **民間事業者と連携したゆるやかな見守り体制の構築**
横浜市孤立予防対策事業など

認知症であってなくても

地域で自分らしく暮らし続けられるために ～認知症支援の取組～

認知症は誰しもうる可能性があります。また、症状・状態は様々で、本人の想いもそれぞれ違います。まずは「知ること」から始めませんか。そして、もし気になる方がご近所にいる場合には、やさしく寄り添い、支援機関に「つなげること」も大切です。

認知症の人やご家族を地域で温かく見守る応援者が「認知症サポーター」で、サポーター養成講座を受けることで誰でもなることができます。講座は区内各所で開催されています。ぜひ受講して認知症の人にやさしいまちづくりを進めましょう。



詳しくはこちら
横浜市認知症サポーターキャラバン



認知症サポーターは区内に累計で2万人以上もいるんだって！小学生からでもなれるんだよ！

認知症サポーターキャラバン
キャラクター ロバ隊長

必要なときに支援が届くしくみづくりを進めます

区役所

- 妊娠中から子育て期にかけての切れ目のない支援に取り組み、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます。
- 経済的な困りごとや生活上の課題を抱えている方などに、必要な支援が行き届くためのネットワークづくりを進めます。
- 災害に備えた共助の取組を支援します。
- 誰もが生活に必要な情報にアクセスできるよう、多様な方法でわかりやすい情報発信を行います。

区社協

- 支援機関や関係団体と連携し、いつでも気軽に相談できる窓口の一つとなります。
- 区社協内で連携し、ボランティア相談、権利擁護相談など各種相談事業を行います。
- 生活に困窮している方の相談に応じます。また、子ども食堂などを活用して様々な支援の周知を行います。

地域ケアプラザ

- 地域と顔の見える関係を築き、気になる方をケアプラザにつないでいただけるようにします。
- 元気なうちからケアプラザとつながりを持ち、必要なときに速やかに支援につなげられるよう、地域活動に積極的に関わっていきます。
- 広報誌、ホームページ、出前講座等を通じて情報を発信します。

取組例

- **子どもの健やかな育ちと放課後支援の推進**
両親教室、赤ちゃん会、こんには赤ちゃん訪問事業、子育て講座、保育園の園庭開放や子育て相談事業、学齢期支援講座(福祉教育・思春期など)、放課後の居場所(放課後キッズクラブ・児童クラブなど)
- **経済的な困りごとなどへの支援**
生活困窮者自立支援制度、中学生への寄り添い型学習支援「つるみ未来塾」、生活福祉資金、食支援など
- **災害に備えた共助の取組の支援**
災害時要援護者支援、共助のための防災活動支援事業など
- **区民にわかりやすい情報の発信**
障害特性に応じた情報発信、つるみ区子育て応援情報の発信、多言語版発行物の作成など
- **在宅医療連携拠点の活用、地域包括ケアシステムと連携した取組**

支援者間のネットワークづくり ～「暮らしの相談支援者ネットワーク」の取組～

区内で働くジャンルや立場を超えたすべての医療・介護・福祉職対象のネットワークが「暮らしの相談支援者ネットワーク」です。

「えん(円、縁)のない人への支援」には、多くの職種の連携が欠かせません。お互いの仕事を知り顔が見える関係を築いていくこと、SOSを出せない人に気づけるようになることを目指して、研修会や事例検討等に取り組んでいます。(事務局：区役所生活支援課・福祉保健課、鶴見区社会福祉協議会、ケアプラザ、汐田総合病院総合ケアセンター)



R7年2月に開催した研修会のチラシ



安心して自分らしく日々を過ごせるよう、権利を守る取組を進めます

区役所

- さいごまで自分らしく生きるための備えについて、元気なうちから考える機会を増やします。
- 虐待の未然防止・早期発見に向けて、関係機関と連携して取り組みます。
- 防犯について普及啓発を進め、犯罪から身を守る力を高めます。

区社協

- あんしんセンター機能を活かし、金銭管理に不安のある高齢者や障害のある方などが安心して暮らせるよう支援します。
- 福祉教育や啓発イベント、権利擁護周知などを通じて、多様な立場の方への理解を深めるよう取り組みます。

地域ケアプラザ

- 虐待の未然防止・早期発見に向けて、関係機関と連携して取り組みます。
- 地域住民へ理解を促します。
- 講座などを通じて権利擁護に関する情報提供や制度の理解促進に取り組みます。

取組例

- **高齢者や障害者の権利擁護支援**
成年後見制度の利用促進、鶴見区版エンディングノート「わになるノート」の普及啓発、あんしんセンターでの金銭管理などの支援など
- **子どもの権利擁護支援**
児童虐待の未然防止・早期発見に向けた普及啓発
子育て支援関係機関と連携し、子どもを守るネットワークによる支援の推進(要保護児童対策地域協議会など)、専門職による子育てや子ども本人からの相談への対応、支援を必要とする小中学生へ寄り添った生活体験の提供
- **誰もが安全・安心に生きていくための理解促進**
区内小中学校などでの福祉教育など
- **高齢者等の防犯意識の向上**
警察と連携した特殊詐欺防止等の普及啓発など

障害児・者とその家族が地域で生き生きと生活できる環境づくり

～自立支援協議会の取組～

鶴見区では、障害児・者が自分らしく地域で暮らしていけるよう、地域全体で連携し支援することを目的とした地域自立支援協議会を設置し、活動を続けています。

協議会では、定期的な会議のほか、様々な機関・団体とも連携し、障害者理解促進のための啓発イベントなども行っています。

また協議会には「相談部会」「精神保健福祉部会」「障害児関係機関連絡会」など様々な部会も設置し、情報共有や研修会など各種の取組も行っています。



それぞれの人に合った防災への備えと支え合い

～防災訓練や災害時要援護者支援に関する地域の取組～



○防災訓練への障害のある方の参加

駒岡小学校地域防災拠点では、令和5年度、視覚障害のある方から「ぜひ訓練に参加したい」という声をいただいたことをきっかけに、障害当事者の参加の取組が進んでいます。

令和5年 視覚障害のある方が初めて訓練に参加

令和6年 訓練でミニ講座

視覚障害者に加え、地域作業所や特別支援学校職員、障害児放課後等デイサービスの利用者・職員が参加

運営委員の方は「地域にはいろいろな方がいて、避難所にも様々な人が来ることをみんなに知っていて欲しい。」と話します。この取組は、障害がある方の地域での生活の安心につながるだけでなく、相互理解を深めるきっかけにもなっています。

○災害時要援護者名簿の活用

鶴見区では、災害時に避難行動が困難だと考えられる高齢者・障害者などの名簿を作成し、地域の皆さまに提供しています。

地域では、地域ごとの状況に応じてこの名簿を活用し、平時からの関係づくりや防災への備えを進めています。



詳しくはこちら

鶴見区災害時要援護者支援ガイド



明るい社会をめざして…「社会を明るくする運動」

～更生保護の取組～

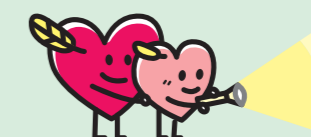
「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行の防止と、立ち直り支援への正しい理解を深めていただくための啓発・広報活動です。

鶴見区では、鶴見区更生保護協会・鶴見保護司会・鶴見区更生保護女性会といった、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア団体などが中心となり、毎年各地区で、講話、啓発資料の配布や掲示、街頭でのキャンペーンといった活動を行っています。

生麦第二地区では「社会を明るくする運動」の講演会の中で「あいねっと」をテーマに取り上げ、地域で実施している様々な活動が地域の「つながり」「支え合い」につながっていることを改めて気づく機会になりました。



令和7年度
社会を明るくする運動講演会の様子



子育て支援の取組

～妊娠中から子育て期にかけての切れ目のない支援～



鶴見区では、妊娠期から育児期まで切れ目のない支援を行っています。妊娠届の提出で母子健康手帳が交付され、妊婦健診の補助が受けられます。妊娠中には、出産や育児の準備を学べる「母親・両親教室」が開催され、妊婦さんとパートナーが安心して赤ちゃんを迎えるための準備ができます。さらに、地域子育て支援拠点「わっくんひろば」では「プレママ・プレパパの会」が開かれ、地域とのつながりを提供しています。出産後は「こんにちは赤ちゃん訪問」や「赤ちゃん会」で育児の相談や交流ができ、「わっくんひろば」では親子が自由に遊び、相談できる場も整え、妊娠から育児まで地域全体で子育てを支えています。その支え合いの中で、貧困やひとり親、発達にかたよりのある子など、支援が必要な子や親の孤立を防ぎ、虐待やいじめ等、深刻な問題に発展しないようサポートしています。

横浜市では令和6年度から、児童福祉法の改正に伴い、すべての妊産婦・子育て世帯・子どもへの相談支援を強化するための「こども家庭センター」機能を先行区のひとつとして、鶴見区こども家庭支援課に設置しています。



横浜市児童虐待対策



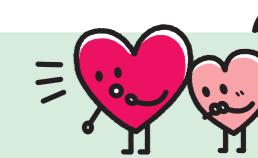
詳しくはこちら



母親・両親教室の様子

生活困窮者支援の取組

～家計のやりくりに関するご相談、ひきこもり支援～



○家計相談

お金のやりくりについて、収入と支出を確認した上で、個々の課題や問題を整理し、一緒に解決方法を考えます。借金の返済をどうしよう、今月はお金が足りない…というお悩みまでお気軽にご相談ください（秘密厳守で対応します）。

保険や金融商品を勧めることはありません。一人ひとりに担当者がつくので、安心してご相談ください。



困ったときは気軽に相談

横浜市生活困窮者自立支援制度



詳しくはこちら

○ひきこもり支援

高齢の親と同居していたところ、親が他界し生活に困り、仕事を探したいというご相談や、家族がひきこもっていることを心配する親御さんからのご相談も受けています。ひきこもりは、本人や家族が助けを求めにくいため、地域の皆さんの気づきと支援機関へのつながりがとても大切です。ひきこもりの方が一歩を踏み出せるよう、相談を通じて、社会参加の場づくりや、地域の活動へのつながりも行っています。



「クリスマス・ランタンフェスタ2024」では、東部ユースプラザと協同でランタンを作成

相談できる窓口を、あらかじめ知っておくと安心だね



あの人にも、教えてあげたいな…

介護に関する課題のある方への支援

～ヤングケアラー・ダブルケアなど～

本来大人が担うような家族のケアを担う18歳未満のヤングケアラーや、複数のケア（世話・介護・育児等）を同時に担うダブルケアラーは、これまで家族の問題とし、家庭内で抱え込まれてきました。

横浜市では、令和7年3月に「横浜市ヤングケアラー支援の手引き」を取りまとめ、「支援に向けたはじめての一步」を掲げて、各部署が連携をして支援にあたることの重要性を示しました。

また、鶴見区内の一般社団法人Omoshiroでは、ケアが必要な家族とそこで暮らす子どもたちへ「親子まるっと伴走支援」を実施しています。ケアは「人と制度と居場所につながるチャンス」と発信しながら、親子の暮らしのサポートや子どもたちの学びのサポートを日々行っています。



人によって、悩みや困りごとは様々だね



いろいろな場所につながっていると、相談にもつながりやすくなるね

性的少数者(LGBT)の方等への支援

100人いれば100通り
性のあり方は、みなそれぞれ。

同性が好き

男性でも女性でもない

私は私

など

性のあり方について悩んだときには、相談できる窓口があります。

このテーマで勉強会を企画している地区も出てきています。身近な人たちで話し合いながらお互いを尊重していきたいですね。

横浜市性的少数者等支援事業



詳しくはこちら



犯罪の被害にあわれた方への支援

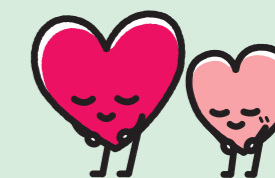
もし、あなたや、あなたの大切な人が犯罪の被害にあってしまったら…。

「横浜市犯罪被害者相談室」では、被害後に直面する様々な問題について、必要な情報のご案内や、条例に基づいた制度などを活用した支援を行います。

横浜市犯罪被害者等相談支援事業



詳しくはこちら

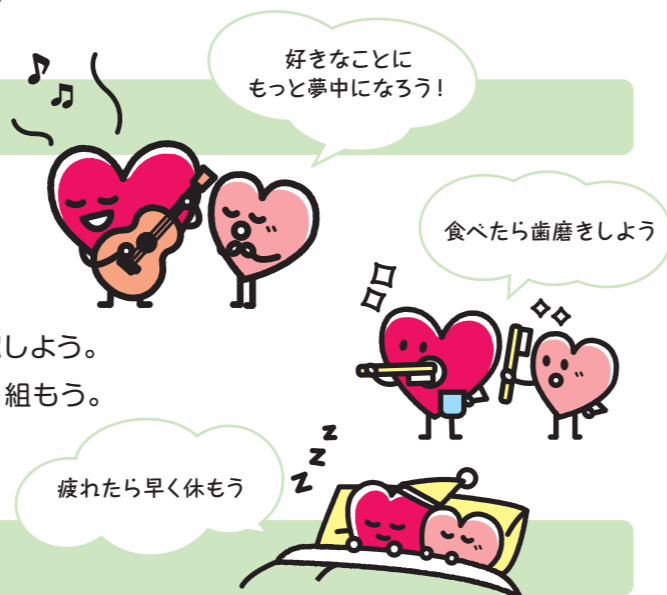


心も体も健やかでいられる地域

- めざす姿**
- 年齢や障害などに関わらず、その人の状態に合わせて健康づくりの場に参加できる
 - 若いころから健康づくりに関われる
 - 年齢や障害等に関わらず、ボランティアや地域活動等に参加し、居場所や役割が持てる機会がある

自分で・家族で

- ・自分のやりたいこと、好きなことや趣味を楽しもう。
- ・自分や家族みんなの健康について考えよう。
- ・良い生活習慣（食事、運動、休養）を心がけよう。
- ・定期的に健診、歯科検診を受けて自分の体の状態を確認しよう。
- ・疲れたとき、つらいときはこころと体のセルフケアに取り組もう。



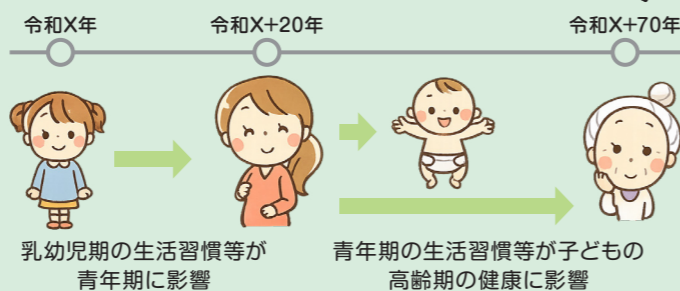
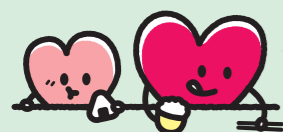
なかまで・地域で

- ・元気のない人がいたら声をかけあおう。
- ・楽しく、無理のない活動を考えていこう。
- ・子どもから大人まで、楽しく「健康づくり」に参加できる内容のイベントを考えよう。
- ・気軽に「健康づくり」に取り組めるイベントを考えよう。
- ・だれもが参加できる交流の場（サロン、居場所）を増やしていこう。
- ・特技や趣味、経験を生かすことができる居場所や活動を作っていこう。
- ・新たな団体とのコラボレーションも考えよう。



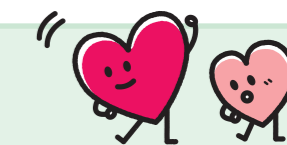
“元気”のバトンをつなごう ~子どものころからの健康づくり~

子どものころからの生活習慣や健康状態は、大人になってからの健康につながります。子どものころから、家族ぐるみで取り組みましょう。



居場所が育む大きなつながり

地域の中に様々な居場所があると…
人と人が出会うきっかけになり、ふれあい・つながり・助け合いが生まれます。



居場所紹介

健康づくりは“誰かと一緒に”が合言葉 ~元気づくりステーション~

元気づくりステーションとは、身近な場所で元気なうちから健康づくりや介護予防の活動を行う自主的なグループです。鶴見区内には16か所※の居場所があります。ウォーキングや体操などを通し、参加者本人が元気になると共に、仲間や地域も元気になることを目指しています。（※R7年12月現在）



子どもも大人も、みんなの居場所 ~子ども食堂・地域食堂~



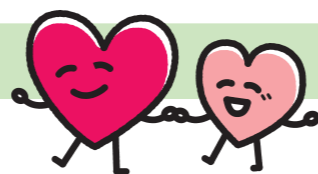
「子ども食堂」や「地域食堂」は、食事を通じて人と人がつながる、ほっとできる居場所です。鶴見区内には17か所※の食堂があります。子ども食堂では、子どもがひとりでも安心して来られて、楽しく食事ができます。友だちと話したり、地域の人とふれあったり、心温まる時間が過ごせます。地域食堂は、子どもだけでなく、大人も高齢の方も、誰もが集まれる食堂です。世代をこえてつながりが生まれ、地域の絆が深まる場所になっています。（※R7年12月現在）



詳しくはこちら
鶴見区子どもの居場所
(子ども・地域食堂、学習支援等)



▶区役所・区社協・地域ケアプラザで



♡「心と体の健康」につながる活動を増やしていきます

共通の支援

- 様々な団体、世代が興味・関心をもてる内容や手法を検討し、取組を進めます。
- 地域の活動に寄り添い、継続的な活動となるよう支援します。

区役所

- 乳幼児から高齢者までのライフコースアプローチ※を意識し、効果的な情報発信を行います。
- 保健活動推進員や食生活等改善推進員等とともに地域の健康づくり活動を進めます。また、学校、企業等と連携して活動を進めます。
- うつ病、依存症など、こころの病気に対する理解を促し、心の健康づくりを進めます。
※胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（第3期健康横浜21）

区社協

- 地区社協などによる取組を共有し、身近な地域で参加できる活動が増えるよう支援します。
- 様々な課題解決を目指す取組が生まれるよう、地域住民が集える場づくりを支援していきます。

地域ケアプラザ

- 子どもから高齢者、障害者など誰もが、集い・学び・語らい・活動する機会と場を提供し、地域活動につながるよう支援します。
- 地域に身近な相談先として、福祉・保健に関する専門の相談、連絡調整を行います。

取組例

- **健康づくり・介護予防**
健診、がん検診の啓発、ウォーキング普及、フレイルの予防啓発、食育、ゲートキーパー研修等
- **学校や企業等と連携した取組**
命の授業、GOGO健康講座、歯周病やオーラルフレイルの予防啓発、地域防災拠点訓練での歯科医師会による口腔ケア講座等
- **安心して子育てできる環境づくり**
親子の居場所ふらっとるーむ、子育て支援拠点わっくんひろば
- **うつや自殺対策、本人と家族への支援**
ゲートキーパー研修、メンタルヘルス普及啓発、精神福祉相談、心の病気理解に向けた研修
- **健康づくりの機会を増やす取組**
健康増進を意識した様々な世代向けの講座、広報誌等を通じた情報発信、ウォーキングポイント、気軽に参加できる企画の工夫
- **住民の個性を活かせる場・機会づくり**
サロンやサークル等の居場所支援、地域活動の情報発信

誰もがゲートキーパー

～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～

鶴見区では「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し、心の悩みを抱える方々への支援体制を強化しています。その一環として、毎年、相談業務に従事する職員を対象に自殺対策研修会を実施し、自殺予防に関する知識と寄り添う姿勢を養っています。また、鶴見図書館にて自殺予防週間に合わせたパネル展を開催するなど、行政や福祉職員だけでなく、地域に暮らす一人ひとりが「いのちのゲートキーパー」として、苦しむ人のSOSに気づき、声をかけ、つなぐ存在となり、区民全体で支え合える温かな地域づくりを目指しています。



♡交流、生きがい、楽しみを持つことができる活動・場・機会を増やしていきます

共通の支援

- 生活の中で、生きがいや楽しみを見つけることの重要性を伝えていきます。
- 楽しみを感じ、自らの役割を見つけることができ、自分の居場所であると感じることのできるような場や機会を設けていきます。
- 「参加してみたい」「参加できそう」という人を増やすために、多様な興味・関心に合わせた活動を用意し、周知します。
- 誰もが身近な場所で活動に参加できるように、活動場所までの移動手段等の課題解決に向け、地域の方々とともに検討します。

区役所

- 地域の拠点となる施設がその役割を果たせるよう、持っている機能を高め、活用していきます。

区社協

- ボランティアセンターなどで活動者自身の趣味や特技を活かせるもの、地域へ出るステップにつながるものなど、様々な活動を紹介できるよう工夫します。
- 新たなつながりや場・機会が生まれるよう、区内各地域の活動やボランティア情報を区社協のホームページや広報誌などで発信していきます。

地域ケアプラザ

- 地域活動のさらなる広がりに向けて、世代や分野を超えた様々なつながりを持てるようコーディネートしていきます。
- 地域ケアプラザの場を活かし、地域住民が気軽に集い、交流できる機会づくりを進めます。

取組例

- **地域活動の支援**
NPOや地域活動団体の活動支援・情報提供・発信、補助金団体の活動交流会、区民活動センターによる支援、まつりや文化イベントなど区民や団体の交流を深める取組
- **活動を共有し認め合う機会や場づくり**
鶴見・あいねっと推進フォーラム、つるみ MACHI 塾、鶴見・まちづくりゼミナール、つるみ区民活動センターまつり
- **施設の整備・機能強化**
地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザなど、集える場所としての機能強化
- **ボランティアの活動支援**
ボランティア講座、ボランティア・市民活動団体分科会、地区社協分科会、子どもの居場所連絡会
- **交流やいきがい、楽しみをもつことができる活動への支援**
年齢、障害の有無に関わらず参加できるポッチャやモルック大会、障害児余暇事業、よこはまシニアボランティアポイント事業

ボランティア活動はじめませんか？

～よこはまシニアボランティアポイント～

よこはまシニアボランティアポイントとは、65歳以上の方が、介護施設等でボランティア活動を行うと、ポイントが貯まり、寄付や換金ができる仕組みです。

シニアパワー、100%!!



詳しくはこちら

第5期計画の評価指標

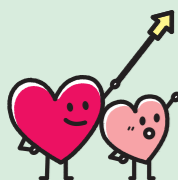
今後の第5期計画の推進状況を把握するため、下記6つを取組の評価指標としています。
 第5期計画でも、取組を進めていくことで地域の交流が深まり、住民が安心して健やかに暮らせる住みよいまちになることを目指していますが、下記指標値の上昇は一人ひとりの幸せにつながるとともに、幸せな生活をみんなで支える地域の実現に近づく一つの目安となります。

指標	考え方	直近の推移			目標値
定住の意向	区民アンケートにおいて、現在お住まいの地域に、これからも住み続けたいと「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合	74.8% (平成26年度)	—	85.1% (令和6年度)	↑
地域活動への参加状況	区民アンケートにおいて、ご近所や区内で行われている何らかの「活動に参加している」割合	—	27.5% (令和元年度)	27.9% (令和6年度)	↑
災害時の助け合い意識	区民アンケートにおいて、災害時の地域の助け合いには日頃からの顔の見える関係が「とても必要だと思う」「必要だと思う」を合わせた割合	91.5% (平成26年度)	85.5% (令和元年度)	86.0% (令和6年度)	↑
健康診断の受診率	区民アンケートにおいて「この1年間に健康診断を受けた」割合	77.8% (平成26年度)	80.1% (令和元年度)	82.2% (令和6年度)	↑
歯科健診の受診率	区民アンケートにおいて「この1年間に歯科健診を受けた」割合	52.9% (平成26年度)	57.4% (令和元年度)	67.6% (令和6年度)	↑
地域の居場所数	区内の「地域子育て支援拠点」「つるみ・ふらっとるーむ」「親と子のつどいの広場」、高齢者の「居場所・サロン」・「認知症カフェ」等の介護予防に資する住民主体の通いの場等、地域の居場所の合計	161か所 (平成28年度)	263か所 (令和元年度)	419か所 (令和6年度)	↑

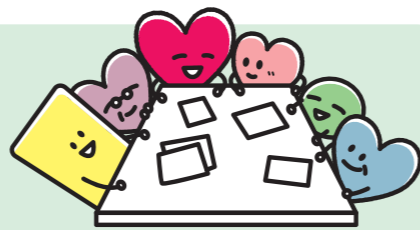
第5期鶴見・あいねっとの評価指標について

第5期鶴見・あいねっどでは、第4期と同様、指標の目標を上昇(↑)と設定しています。

評価指標は、地域の福祉や保健活動の進捗を確認するためのいわば「みちしるべ」としての役割を果たしますが、最も大切なのは、目標に向かって進んでいく過程で地域の皆さんがともに考え、話し合い、協力していくことです。この過程での対話や協力は、地域の絆を深め、共通の理解を築くための貴重な機会となります。



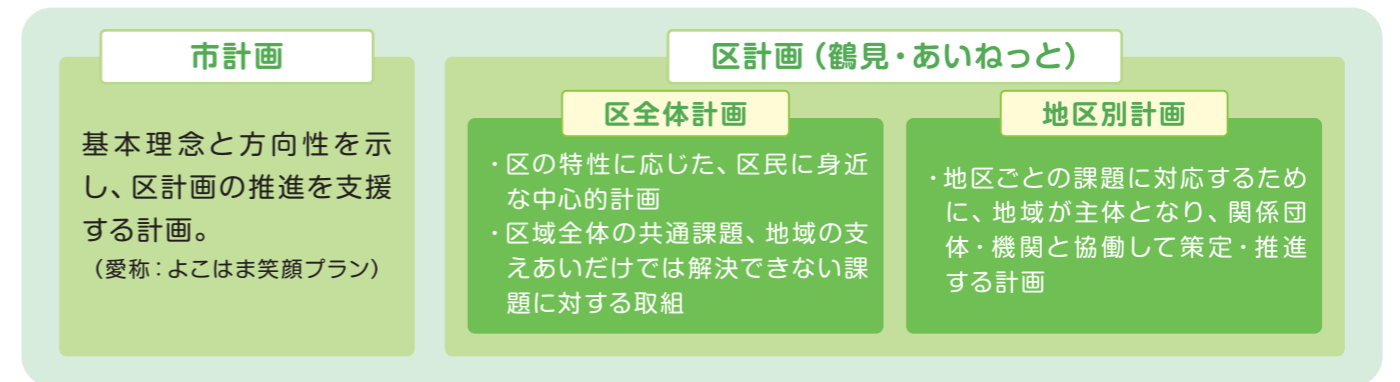
まずは、地域のみなさんで話し合う機会を設定してみませんか？区役所・区社協・ケアプラザなどで構成する「地区別支援チーム」も、サポートさせていただきます！



寺尾地区あいねっど地区懇談会に旭小学校の児童が参加

市計画との関係

横浜市地域福祉保健計画は、横浜市全体の基本理念と方向性を示す「市計画」、市内18区ごとの特性に応じた「区計画」、地区ごとの課題に対応した「地区別計画」で構成されています。



1 第1期計画の経過 平成17年度～平成21年度

18区の中で先行して策定する区の一つとして、平成17年3月に、区計画及び地区別計画が策定されました。

【基本理念】 地域社会のつながりをつくります
 必要な人には確実に支援が届く仕組みをつくります
 互いに支えあう相互扶助の地域社会をつくります

2 第2期計画の経過 平成22年度～平成27年度

第1期計画では、「地域福祉保健計画」と区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」が連動して、地域の福祉保健活動を総合的に下支えすることとしていましたが、第2期計画からは、区と区社協が策定プロセスを共有し一体的な計画として策定しました。

【基本理念】 健康で住みやすい福祉のまちに！
【推進の柱】 一つ目の柱 つながりのある地域づくり
 二つ目の柱 必要な人に支援が届く仕組みづくり
 三つ目の柱 互いに支えあう地域社会づくり

3 第3期計画の経過 平成28年度～令和2年度

第3期計画では、基本理念の実現を目指して3つの「推進の柱」を掲げ、その柱に沿って地域の皆さん、区役所・区社協・地域ケアプラザ等が連携し、取組を進められるよう策定しました。

【基本理念】 たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク
【推進の柱】 一つ目の柱 つながりのある地域づくり
 二つ目の柱 必要な人に支援が届くしくみづくり
 三つ目の柱 健やかに暮らせる地域づくり

地域のみなさんの
 カで長く続いている
 計画なんだね！
 第5期計画の計画期間は、
 令和8年度から
 令和12年度だよ！

4 第4期計画の経過 令和3年度～令和7年度

67ページ「第4期計画の振り返り」をご覧ください。



4章 地区別計画

地区別計画とは

概ね各連合町内会を単位とし、各地区の状況に合わせた様々な方法で話し合いなどを重ねながら、区全体計画と同じく5年ごとに計画を策定しています。

地区ごとに目指す地域の姿、それに向けた今後5年間の取組をまとめており、計画に沿って取組を進め、振り返りを行いながら、次年度以降のまちづくりにつなげていきます。

鶴見区は地域によって特徴は様々です。特徴に合わせた各地区の取組がひととき重要となっています。



臨海部は工業地帯、中心部は商業・住宅地域が主体となっていますが、住工混在地区も見られます。また、丘陵部は、区内では数少ない自然が残された住宅地となっています。昭和2年の横浜市の区制施行によって誕生した鶴見区は、工業地帯としての顔ばかりでなく、商業都市、住宅都市としての顔も兼ね備えています。

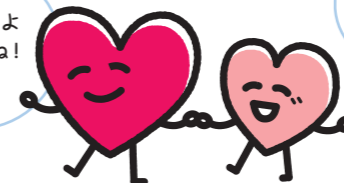
外国人住民数は中区に続いて市内2番目の多さとなっており、国際色豊かな地域です。

各地区の地区別計画

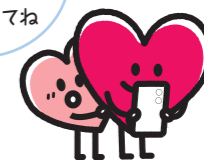
18地区ごとに第5期計画で力を入れたいことや、計画の策定経過をまとめています。

- ① 矢向地区連合町内会 —— 誰もが安心して暮らせる矢向のまち
- ② 市場地区自治会連合会 —— 集まれ!だれでも参加の市場地区
- ③ 市場地区第二自治連合会 —— 笑顔と幸せの輪をつなげよう みんなのふるさと市場第二
- ④ 鶴見中央地区自治連合会 —— 健康と防災でみんながつながりつづけるオール鶴見中央
- ⑤ 潮田中央地区連合会 —— つながりの街 USHIODA
- ⑥ 潮田東部地区自治会連合会 —— 声かけて 心がつながる 潮田東部
- ⑦ 潮見橋地区連合会 —— ふれあい 支え合おう 潮見橋
- ⑧ 潮田西部地区自治連合会 —— "助け合う・支え合う・分かち合う 人が繋がるまちづくり"
- ⑨ 小野町地区自治連合会 —— 地域みんなでつながろう、取組の輪をひろげていこう
- ⑩ 生麦第一地区連合会 —— 人とひととのつながりを大切に育てます。
- ⑪ 生麦第二地区連合会 —— みんなの笑顔が みんなの健康が なまに(生麦第二地区の愛称)の元気の源
- ⑫ 豊岡地区連合会 —— つながりが育む、安心と健康のまち豊岡
- ⑬ 寺尾地区自治連合会 —— ふんわりとしたつながりで互いに認め合い 誰もが輝ける街 寺尾
- ⑭ 寺尾第二地区連合会 —— みんなの思いや 心が見える まちづくり
- ⑮ 駒岡地区連合会 —— 地域みんなでつながる町 駒岡
- ⑯ 上末吉地区自治連合会 —— つながる 安心安全なまち 上末吉
- ⑰ 法人下末吉連合会 —— とともに つながる 下末吉
- ⑱ 江ヶ崎町内会 —— 支えあう・助け合う町 江ヶ崎

地区別計画はより身近なまちの計画だよ
個性豊かなキャッチフレーズが素敵だね!
みんなで進めていく計画なんだね



これまでの地域の取組を
動画で見ることができるよ!
二次元コードを読み取ってね



詳しくはこちら

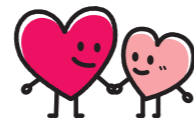


地域活動の仲間を増やす工夫

様々な団体で、参加の裾野を広げたり参加しやすくするための工夫として、病院等いろいろな人の目に留まる場所へのちらしの配架、口コミや SNS の活用、二次元コードを活用した申込などが行われています。また、ちょっとした役割や期間限定の関わりをお願いしたり、サロンの参加者にできる範囲でお手伝いをしてもらうなど、協力者を増やす工夫もされています。本冊子にも仲間を増やす工夫が随所に盛り込まれています。

仲間を増やすってなかなか難しいよね
でも「この部分だけなら手伝えるよ」って人は
案外いるのかも!?
まずは周りの人に聞いてみよう!





キャッチフレーズ

誰もが安心して暮らせる矢向のまち

第5期計画で力を入れたいこと

1 子どもが健全に過ごせる場づくり

具体的な活動

- 1 乳幼児期から地域とつながっていける環境づくり（赤ちゃん会、子育て相談、とちのきっすサロンなど）
- 2 子どもたちが地域のつながりの楽しさや大切さを感じられる矢向のまちづくりを進めていく。（あいさつ運動、こどもフェスタなど）
- 3 小・中学生が地域との関わりを増やせるよう交流・取組を進めていく。（総合学習での連携、地域イベントへの参画など）



こどもフェスタの様子

2 住民の参加・担い手づくり

具体的な活動

- 1 町会の垣根を越え、子どもから高齢者、障害がある方など誰でも参加できるイベントを行う。（お祭り、運動会、グラウンドゴルフなど）
- 2 若い世代が参加しやすい仕掛けづくりを進めていく。（イベント内容や情報発信の工夫など）
- 3 多世代・多文化の住民が交流できる機会をつくる。（矢向ふれあいcafé、多文化共生講座など）



矢向ふれあいcaféの様子

3 住民同士の見守り見守られる関係づくり（ゆるやかな見守り）

具体的な活動

- 1 地域の方が身近な場所で安心して集まれる居場所をつくる。（サロン、体操、趣味活動など）
- 2 ひとり暮らしの高齢の方など支援が必要な方を日ごろからの見守る活動。
- 3 災害の際に支えが必要な方をはじめ、地域でお互いが助け合える地域づくり（防災訓練、黄色いリボン運動など）



防災拠点訓練の様子

神社神輿宮入（矢向日枝神社）

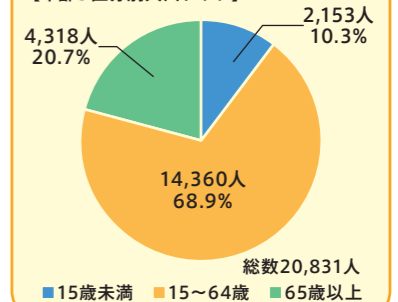


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

川崎市と隣接しており、住民の生活圏域は川崎駅方面に広がっています。東京や横浜方面へのアクセスも良く、マンションや新築戸建て住宅の建設が進み、子育て世代家族が増えています。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- あいねっとクイズラリーの実施に併せて、シールアンケートを行いました。小学生から子育て世帯、高齢の方など幅広い地域の皆さんから目指したい矢向のまちのイメージを伺いました。
- 推進委員会にて、4期の振り返りと5期に向けてのグループワークを行いました。地域の皆さんの活動の中で「やれていること」や「これからやりたいこと」などを付せんに貼って共有し、活発な意見交換を行いました。子どもと地域との交流・参加を進め、将来の担い手づくりにつなげたい、などさまざまな意見があがりました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

誰もが安心して暮らせる矢向のまち

目標① 子どもが健全に過ごせる場づくり

矢向小入学式で新生児に声かけを行い、「あいさつ」によるつながりづくりを進めました。

目標② 住民の参加（担い手づくり）

10月のとちのきフェア「あいねっとクイズラリー」を通じて地域参加の意識が高まりました。

目標③ 住民同士の見守り見守られる関係づくり（ゆるやかな見守り）

矢向ふれあいCaféを毎月開催し、多世代交流によりゆるやかな見守りにつながっています。



キャッチフレーズ

集まれ！ だれでも参加の市場地区

第5期計画で力を入れたいこと

1 子どもから高齢者まで、地域の中で見守り、支え合いの活動を推進します。

具体的な活動

- 1 日頃のあいさつ、声掛けにより世代を超えて笑顔と安心をふやしていきます。
- 2 登下校時の子どもの見守り活動を通じて、互いに顔の見える関係づくりを進めます。
- 3 地域の居場所や活動を通して地域の見守り・支え合いを進めます。



キッズルーム

2 行事をとおして、地域を盛り上げる仲間の輪を広げます。

具体的な活動

- 1 世代を超えて誰でも気軽に参加できる活動やイベントの工夫を考えます。
例) 「できることから、無理なく」を合言葉に
スポットでのお手伝いを募集、無理なく楽しく参加できる活動



お祭り・神輿

3 取組み・アイデアの共有を促進し、地域のつながりを強めます。

具体的な活動

- 1 地区懇談会等の話し合いの場を通じて、地域の取組の共有・情報交換を進めます。
- 2 小中学校や福祉施設等と地域のつながりを大切にします。
例) 防災、地域清掃、お祭り



買い物支援

リバーサイドガーデン

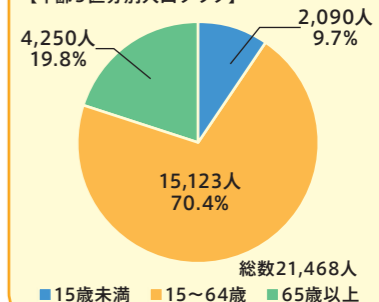


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川に隣接し、川崎市との境にあります。平坦な地形のため、鶴見駅まで自転車や徒歩で移動がしやすいエリアです。京急鶴見市場駅が最寄りの駅となっています。鶴見川沿いは、四季折々の花が楽しめます。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- 令和7年2月地区懇談会で「第4期計画の振り返り・第5期計画策定に向けて」をテーマに、参加者で話し合いを行いました。この中で、年間を通じて各種行事が盛大に行われている市場地区の良さを再確認しました。また、地域活動の新たな担い手づくりの課題や対応策を話し合いました。

こうした内容を受け、その後毎月の会長会で第5期計画に盛り込む具体的な文言を検討してきました。



地区懇談会

これまでの計画(第4期)の振り返り

支え合い 笑顔で見守る 市場地区

目標① 日頃のあいさつから地域のつながりを強め、情報が行き届く町を目指します

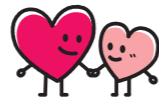
あいさつ運動を実践し、掲示板・回覧板での情報発信やあいねっと地区懇談会で取組みの共有を図りました。

目標② 地域行事を通じて、未来の担い手をつくります

祭りや各種イベントには多くの参加者が集まっています。担い手づくりには引き続き取り組んでいく必要があります。

目標③ 子どもから高齢者まで、地域の中で見守り、支え合いの活動を推進します

ほがらか教室やハートフルキッチン等の活動を、引き続き地域全体で支え推進しました。



キャッチフレーズ

笑顔と幸せの輪をつなげよう みんなのふるさと市場第二

第5期計画で力を入れたいこと

1 興味を引き出す情報発信で地域のつながりを強くしよう

具体的な活動

- 1 ホームページへ気軽にアクセスできる工夫を考えよう
市場地区第二自治連合会ホームページの認知度を高める工夫を考える
- 2 自治会町内会、活動団体の情報を共有し、地域の活動を知ろう
ホームページに地域情報を集約、地域の皆さんと話し合う場づくり



2 交流の場や地域活動を通じて世代を超えた絆をつくろう

具体的な活動

- 1 「楽しい」行事・イベントで盛り上げよう
季節のお祭りや行事を通じた「みんなのふるさと市場第二」の実感
オール市場運動会、球技大会、市場小コンサート等の取組
- 2 幅広く世代を超えて交流しよう
小・中学校地域活動（鶴見ふるさと科）や乳幼児・高齢者・障害者支援施設を通じた交流
- 3 地域活動により関心を持つ人を増やしていこう



3 見守り・支え合い・頼りあいにより、安全安心なまちづくりに取り組もう

具体的な活動

- 1 身近な見守りを大事にしよう
身近な地域での要援護者の見守りや防災・防火・防犯・交通安全の取組
- 2 支え合いの仕組みづくりを進めよう
子ども食堂や認知症サポーター養成講座等の実施
- 3 いつまでも健やかに暮らそう
フレイル予防等、身近な場所で健康づくり活動に参加しよう



オール市場運動会

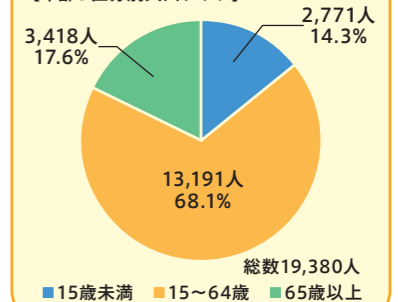


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川に隣接し、川崎市との境にあります。大型マンションの建設により子育て世代が多く転入し、令和2年度に市場小学校けやき分校が開校しました。また、旧東海道が通り、歴史的資源が残る地域でもあります。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- 第4期計画の振り返りと第5期計画に向けた意見交換
令和7年3月地区関係者連絡会で、第4期計画の状況を振り返り、これまでの取組を継続することを確認するとともに、第5期計画で行いたいことなどについて意見交換を実施しました。
- 第5期計画策定のグループ討議
令和7年6月地区関係者連絡会で、第5期計画の取組目標やキャッチフレーズについてグループ討議を行いました。これまでの取組を踏まえながら、将来にわたって地域のつながり、絆づくり、安心・安全な街づくりが実現できるよう、熱意のこもった議論が行われました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

はじける笑顔があふれる市場第二

目標① 情報発信や広報の工夫により、地域のつながりをより強くしていきます

情報発信・広報のプラットフォームとして市場地区第二自治連合会ホームページを立ち上げ

目標② 交流の場を通じて、世代等を超えたつながりをつくります

お祭りや地域行事を通じてのつながりのほか、小・中学校や福祉施設等との交流も推進

目標③ 見守り・支え合いのまちづくりに取り組みます

身近な場所での健康づくり活動、認知症サポーター養成講座、学習支援活動を実施



キャッチフレーズ

健康と防災でみんなであつながら つづけるオール鶴見中央

第5期計画で力を入れたいこと

- ◆ 共生社会実現のため「オール鶴見中央」を合言葉に、鶴見中央地区に住むすべての人と一緒に取り組みます。
- ◆ 何ごとも楽しく、気軽に声をかけたり話し合える地域を目指します。
- ◆ 担い手不足を解消するために、新しい人や若い人たちも気軽に参加できる工夫や、団体同士が協力しあって人手不足を補うといった工夫をします。

1 みんなの声が届き、みんなが参加できる、みんなが主役のまち

具体的な活動

- 多世代・多文化・障がいなど、みんなが会いあつながら
例：多世代多文化交流サロン、子どもの居場所、町内会やマンションごとの高齢者等のサロン など
- 町会の垣根なく楽しみながら参加でき、地域の絆が深まる
例：地域とかかわりを持てるようなイベントを充実させる。
- 住民や学校、企業等を含め、情報が届いてつながる
例：広報誌「まちしるべえ」、ホームページなど、様々な媒体で広報する
例：声や情報が届きにくい人（現役世代・外国にルーツのある方など）とつながる工夫をする



2 防災・防犯で安心して暮らせるまち

具体的な活動

- 自助・共助で減災につなげる
例：備蓄、防災訓練への参加、ご近所との関係づくり など
- 地域での防災意識を高める
例：町内会未加入の人、転入者、外国にルーツのある方、障がいのある方、ペットなどの防災訓練への参加を進める
例：各自自治会の防災組織や訓練内容の拡充
- 地域での見守り活動 例：あいさつをして知り合いを増やす、「つるみっ子見守り隊」、「防犯パトロール」など



3 健康で元気に暮らせるまち

具体的な活動

- 日頃の生活を整えて、様々な世代がこころやかなら健康について学ぶ場を作る
例：健康測定、食育講座、公園清掃、認知症サポーター養成講座、フレイル予防の取組 など
- 様々な団体が協力し、健康づくりの間口を広げ、乳幼児から高齢者まで参加できる
例：子育て支援教室終了後の歯の健康講座など
- 趣味や運動を通じた健康づくりを行う
例：ラジオ体操、ポッチャ、グランドゴルフ、ふまねっと運動、eスポーツなど



鶴見・みんなの会

毎月第2土曜日10:00~11:30
鶴見中央ケアプラザで開催しています！



みんな、あそびにきてね〜

とっても楽しいよ！

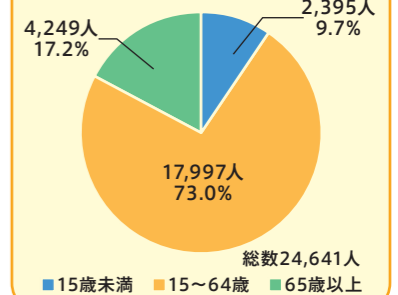
活動の様子はこちらから！



DATA

鶴見駅が近く、交通の便がよい地域です。店舗や公共施設、医療機関、保育園などが数多くあります。マンションやアパートが多く、若い世代が増加傾向にあります。

【年齢3区分別人ログラフ】



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

第5期計画はこのようにつくりました

鶴見中央地区社会福祉協議会（以下、地区社協）を中心に、準備を進めてきました。地区社協より、「各町会をはじめ、一人ひとりの声を大切にしていきたい」という意見があり、令和6年11月に「あいねっと検討会」（各町会から3名出席）を開催しました。検討会では、第5期計画に向けて、鶴見中央地区への熱い気持ちを話し合いました。出席されたメンバーから「愛着」、「つながり」というキーワードが多く挙がっていたことを踏まえ、鶴見中央地区に住むすべての人と一緒に取り組み、何事も楽しく、気軽に声をかけたり、話し合える地域を目指すことになりました。第5期計画では第4期に続き、健康と防災等を通じてみんながあつながら、元気に過ごせるまちづくり、多世代・多文化共生のまちづくりを目指して、「オール鶴見中央」を合言葉に、みんなで進んでいきます。

これまでの計画（第4期）の振り返り

健康と防災でみんながあつながら鶴見中央

第4期地区別計画は、鶴見中央地区あいねっと推進委員会が中心となり策定しました。地域交流サロン・配食・防犯パトロール・スポーツイベント・お祭りなどの事業継続に加え、コロナ禍を経て休止した団体の活動再開や、地区社協・みんブラ広場などの新規取組の実現がされました。

1 声かけでみんながあつながら地域づくり

地区に暮らしす外国ルーツの方から「子育て」で感じたことや困ったことを話していただき、多文化理解のきっかけをつくりました。



2 みんなで見守りができるまち

地域防災拠点訓練では、障害関係事業所の参加や、ペット受入訓練の実施など、防災を通して地域と多様につながっています。



3 みんなが健康にすごせるまち

認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症の方が地域で安心かつ健康に過ごせるような取り組みを行っています。





キャッチフレーズ

つながりの街 USHIODA

第5期計画で力を入れたいこと

1 住民同士の“つながり”の輪を広げる

具体的な活動

- 1 日頃からのあいさつや登下校時の見守り・声かけ、身近な居場所を通した、つながりづくりを行ないます。
(例：高齢者サロン、子育てサロン)
- 2 子どもから高齢者、外国につながる方など世代や文化を超えた交流を深められるイベントを企画実施します。
(例：USHIODAフェスタ、クリスマスランタンフェスタ)
- 3 町の美化に協力して取り組み、住民同士のつながりをつくります。
(例：ごみの分別の啓発、地域清掃)



2 災害に備えて安心・安全なまちづくり

具体的な活動

- 1 地震だけでなく風水害にも備えて、防災訓練の呼びかけや内容の工夫を行う。小中高校生、若い世代、外国につながる方、障害のある方の参加を促します。
- 2 日頃から子ども、高齢者、障害者等の見守りを行い、地域みんなでの助けあう意識を高めていきます。
- 3 災害時要援護者の見守り、声かけ等の体制づくりを行っています。



3 地域みんな健康づくり

具体的な活動

- 1 地域の公共施設や福祉施設を活用し、地域での健康づくりの取組をさらに充実させます。
(例：ポッチャ、ラジオ体操、ウォーキング大会)
- 2 若い世代、外国につながる方も含めて、住民一人ひとりが健康づくりの意識を育てられる場・機会づくりを行い、発信します。
(例：掲示板の活用、情報発信の工夫)
- 3 健康づくりの取組に、認知症予防やフレイル予防の視点を加えていきます。



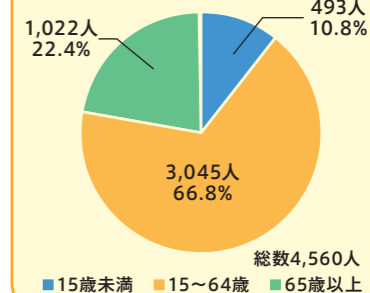
～第2回USHIODAフェスタの様子～ 2024.3.9

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在)※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

地区幹線道路などが整い、住宅、店舗、工場などが混在しています。最寄り駅まで距離があるため、バスまたは自転車を利用する人が多い地域です。鶴見川などの自然があり、潮田神社、潮田公園などの歴史資源や公共施設があります。

【年齢3区分別人ログラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

令和6年10月から令和7年2月にかけて、潮田中央地区あいねっと推進委員会にて合計3回のグループワークを実施し、できていること、地域課題や今後取り組みたいことなどを議論しました。第5期計画につながるポイントとして、多世代・多文化間の相互理解と交流、若い世代や外国につながる方の防災訓練への参加促進、健康づくりの場の情報発信についての工夫等を計画に盛り込みました。



これまでの計画(第4期)の振り返り

つながりの街 USHIODA

目標① 住民同士の“つながり”の輪を広げる

子育てや高齢者サロンに多くの方が楽しみに参加してくれています。潮田公園やコミュニティハウスが多世代交流の場となっています。USHIODAフェスタ、ランタンフェスタがつながりの輪の場に成長しています。



ランタンフェスタ

目標② 災害に備えて安心・安全なまちづくり

防災訓練には多くの方が参加し、災害時に支援が必要となる方へ特に周知を実施しました。中学生や障害のある方、防災に関心な方に防災訓練への参加を促す方法が課題です。発災時に住民間で災害情報を共有する仕組みづくりに取り組む必要があります。

目標③ 地域みんな健康づくり

ラジオ体操、グランドゴルフ、モルック、ポッチャ、羽根つき大会などを実施しました。二次元コードの掲載など様々な世代の方にイベント情報が届くよう情報発信に工夫が必要です。子どもや外国につながる方がある方が参加しやすい健康づくりイベントの企画開催を進めます。



キャッチフレーズ

みんなで
声をかけよう
手をのばそう
手をつなごう
挨拶をしよう

声かけて 心がつながる 潮田東部

高齢者、子ども、子育て中の方、介護をしている方、障害のある方、外国にルーツのある方など、様々な世代、様々な環境にある方が地域でつながり、支えあうことを大切にします。地域で何が課題になっているか、住民が何を望んでいるか、住民の『声』をもとに取り組んでいくことを目指します。各町会の情報交換を密にし、取組を共有し、広げていきます。

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域みんなで支えあい

具体的な活動

- 1 災害に備えた地域ごとの仕組みづくりをすすめます。
(要援護者支援等)
- 2 支援者間での情報共有をすすめます。
(例：各自治会で様々な講習会等を実施、情報交換を促進し様々な人との連携を広める、地域と関係機関との情報交換など支援者間で情報を共有する、こども食堂を行っている自治会への協力)



盆踊り大会

2 地域の中での見守り活動

具体的な活動

- 1 高齢者に限らず見守り活動を推進します。
- 2 様々な世代、様々な環境にある方への理解・啓発に取り組みます。
(例：登下校時の見守りを継続、緊急連絡カードを子どもから大人まで広める、各イベント《連合、自治町会》への参加を積極的に呼びかける)



敬老祝賀会

3 地域で楽しく健康づくり

具体的な活動

- 1 4公園の元気づくりステーションを充実させます。
- 2 既存の活動(ウォーキングや体操等)のPRを強化します。
- 3 活動を通じ、多世代交流、趣味特技を活かした健康づくりに取り組みます。
(例：マンネリ化しないような工夫を続ける、参加するみんなが興味を持てる企画、公園の掃除、花壇づくりへの参加呼びかけ)



元気アップウォーキング

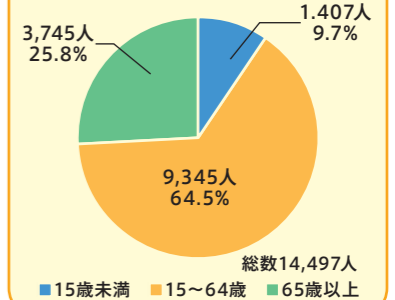


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川と海側の工場地帯に挟まれた平坦なエリアで、川崎市に隣接しています。地域には、潮田神社、潮田小学校、入船小学校、潮田中学校、寛政中学校などがあります。

【年齢3区分別人ログラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

地区懇談会(潮田東部地区フォーラム)で話し合い、下記のような様々な意見が出ました。この意見をもとにさらに地域で話し合い、第5期計画をまとめていきました。

- 支えあい**
- 高齢者サロンでの詐欺防止講習
 - 何気ない会話から知り合いを増やすことが災害時に役立つ
 - 要援護者名簿だけでなく各町会で見守りの決めごとが必要
 - 多国籍交流のまち、人権の授業が充実。誰もが溶け込みやすい地域性
- 見守り**
- 住民同士の見守りで、アパート室内で倒れていた人を見つけたことがある
 - ポッチャを通じた多世代交流
 - 転入者は町会に入りづらい傾向。子どもが加入のきっかけになる
 - 登下校時の声かけ、見守りは安心につながる
- 健康づくり**
- コロナ禍を経て、取組再開、継続
 - 各公園で元気づくりステーション、元気アップウォーキング、ラジオ体操を実施しているが、参加者が年々減少している

これまでの計画(第4期)の振り返り

声かけて 心がつながる 潮田東部

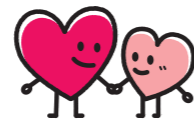
目標① 地域みんなで支えあい 目標② 地域の中での見守り活動 目標③ 地域で楽しく健康づくり

これまでの活動 ～潮田東部地区フォーラムを開催～

- 【第1回】令和6年5月13日(月)「緊急連絡カード」のリニューアルを検討、高齢者や子どもの見守り活動での課題を共有
- 【第2回】令和6年8月2日(金)「緊急連絡カード」の内容について話し合い、支え合いマップについて各自治会の状況を共有
- 【第3回】令和6年11月13日(水) 地域の見守りや子育て支援のあり方について意見交換



あいねっと地区フォーラム



キャッチフレーズ

ふれあい 支え合おう 潮見橋

第5期計画で力を入れたいこと

1 つながりを広げよう! 声かけてつなぐ地域の絆づくり

具体的な活動

- 胸をはってあいさつができる子どもを地域で育てよう
例: 学援隊と学校が連携した子どもたちへの声かけ
次につながる足がかりとなるような行事・イベントへの声かけ
- 住民同士の心のふれあいの場や機会を増やそう
例: こどもから高齢者まで参加しやすい行事・日頃のごみの分別や環境美化を切り口にした交流
- 広報や口コミなど情報発信の内容や方法の工夫を行おう
例: 友達同士や親子への声かけ・子どもたちが情報を得られやすいような工夫



2 支え、助け合う 安全・安心な町づくり

具体的な活動

- 日頃からの子どもや高齢者の見守りを続けよう
例: 小学校の学援隊での見守り、声掛け・一人暮らし高齢者への声掛け、見守り
- 人が集う場・機会での見守りを広げよう
例: 子ども食堂・子育てサロン・高齢者サロン・居場所
・広報活動の強化により参加者を増やす
・SNS等で活動を発信して多世代にアピールする
- 災害に対する備えをしよう
例: 防災講座の開催・学校等と連携して子どもや若い世代の参加が増えるように取り組む



3 それぞれの人に合った健康づくり♥

具体的な活動

- 誰もが参加できる健康づくりの場を充実させよう
例: 子どもや若い世代も参加できるように、内容や情報発信の方法を工夫する。
・ポッチャやワックン体操など、みんなで楽しく身体を動かせる機会を増やす
- 趣味や特技を活かした健康づくりを広げよう
例: ウォーキング、グランドゴルフ、ペタンク、美容教室など
- みんなで心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばそう
例: 広報等で特定健診の大事さを伝える、健康講座の開催

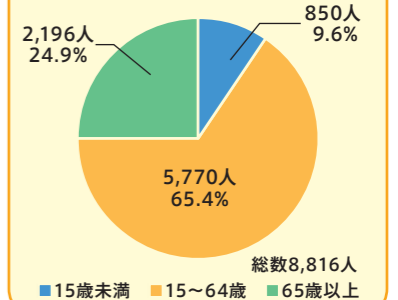


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川に面した平坦なエリアで、南北にJR鶴見線が走っています。地区の商店街は住民の生活に便利な商店街として定着しています。工場跡地などにマンションや戸建てが建ち、転入者が増えています。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- 第4期計画の振り返りアンケートを実施
第4期で取り組んだ内容や今後取り組みたい内容、課題と感じていることについて各町会にアンケートを実施しました。
- 意見交換会を実施
第4期ふりかえりアンケートを基にし、目標1、目標2、目標3のグループに分かれて第5期計画策定にむけた意見交換会を実施し、各グループから地域愛にあふれた意見が沢山だされました。



これまでの計画(第4期)の振り返り

ふれあい 支えあおう 潮見橋

目標① つながりを広げよう! 声かけてつなぐ地域の絆づくり

ふれあいの集い、祭りや様々なイベント、健康ウォーキング、ちびっ子広場など、みんなが楽しめる参加型の行事を企画し、住民同士の交流を深めた。



目標② 支え、助け合う安全・安心な町づくり

下野谷小学校の学援隊での声かけあいさつの実施や、ちびっ子広場やこども食堂の開催。

目標③ それぞれの人に合った健康づくり♥

ウォーキング、ポッチャなど体を動かすイベントの開催や健康の大切さを伝える福祉講座の開催。



キャッチフレーズ

“助け合う・支え合う・分かち合う 人が繋がるまちづくり”

第5期計画で力を入れたいこと

1 他者を認め、お互いを活かし、共生・協働できるまちづくりの推進 ～絆、交流、外国につながる人～

具体的な活動

- 1 参加しやすい地域のイベントを企画・実施しよう。
- 2 ささまざまな憩いの居場所をつくろう。
- 3 だれもが参加しやすい防災訓練を実施しよう。
- 4 外国につながるのがある住民と交流しよう。
架け橋となる人材を育成しよう。

2023年9月 潮田交流プラザ秋まつり
インターナショナルカフェ

2 助け合いの輪を広げるまちづくりの推進 ～安全対策、災害対策、要援護者対策～

具体的な活動

- ◆ ①～⑨の取組を充実させ、助け合いの輪を広げていこう。
- ①声かけ・挨拶運動 ②要援護者支援 ③防災訓練
- ④災害時安否確認（黄色いタオル） ⑤安心安全マップ（消火栓）
- ⑥食品ロスの削減（フードドライブ）
- ⑦あいねっと推進会議
- ⑧地域資源の発掘・地域ならではの魅力創出 ⑨後継者探し

2024年12月 汐入小防災拠点訓練
HUG訓練を実施

3 元気なまちづくりの推進 ～地域資源、健康づくり、人材発掘、他組織との交流～

具体的な活動

- 1 スポーツ交流会を通じて健康づくりに取り組もう。
- 2 健康のために体操を続けよう。
- 3 仲間と一緒にウォーキングをしよう。
- 4 熱中症予防対策をしよう。
- 5 国際学生会館と交流しよう。

2024年8月
支え合い(愛)パーティー
ラダートレーニング

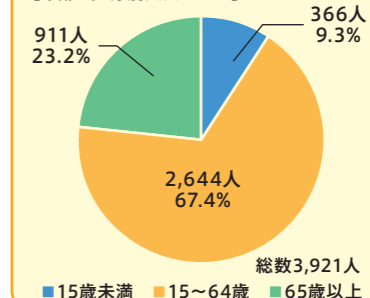
2024年7月 納涼祭

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川と海側の工場地帯に挟まれた平坦な地域で、地区の中央を潮風大通りが通っています。地域には、潮田交流プラザ（潮田地域ケアプラザ、潮田地区センター、横浜市国際学生会館）、汐入小学校などがあります。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

あいねっと鶴見区計画第5期を参考に、これまでの4期の活動を地区計画にどのように継続して発展していけるかを考えながら作成しました。

作業の過程では、後継者にどう引き継いでいくか、担い手をどのように増やしていくかも意識しながら進めていきました。

7月23日に方向性検討を、8月23日に素案作成委員会を、9月7日にあいねっと推進会議を行い、皆で意見を出し合いました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

"安心・安全・支え合い 人が育む まちづくり"

目標① 地域みんなで支え合うまちづくり

支え合いパーティーをとおして、食品ロスの削減の取組としてのフードドライブ・ウォーキング・健康体操等の健康づくりを実践。海外のお茶で外国籍の人と交流を図る。熱中症予防・火災予防のチェックリストを配布。HUG防災訓練、小学生の放水訓練を実施。

目標② 地域の中で資源の掘り起こし

各イベントについて、次世代の担い手を中心に企画運営に携わり、組織の強化を図る。目標1のイベントをつうじた居場所づくりを実施。住民アンケートを実施。

目標③ 地域の資源・情報を活用した組織づくり

自治会にwi-fiの導入・学校交流（計算道場・ミシンかけ・イベント参加）・国際学生会館との交流・あいねっと推進会議で情報発信



キャッチフレーズ

地域みんなでつながろう、取組の輪をひろげていこう

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域の力で新たな担い手を増やしていこう

具体的な活動

- 1 新たな担い手を育て、中高生を含めた幅広い世代へ取組の輪をひろげていこう
 - ・Machi-Kirei (マチ・キレイ) やアートイベントなどをとおした芸術と活気があふれる美しいまちづくり
 - ・お祭りなど地域行事への中高生を含めた幅広い世代の参加
- 2 転入者や若い世代、外国籍の方などを含め、小野町のみなさんに行事やイベントが伝わるように、周知方法を工夫します
 - ・掲示の工夫、広報紙の作成と全戸配布、SNSの活用



2 地域のつながりで助け合える、災害に強いまちにしよう

具体的な活動

- 1 災害に備えよう
 - ・地域の福祉施設、病院、企業等と連携した一時避難場所の確保・防災倉庫の整理
- 2 顔の見える関係をつくり、普段から助け合えるまちにしよう
 - ・日頃からの隣近所のあいさつや声かけ
 - ・地域の取組の輪を通して、顔の見える関係づくり
- 3 災害時に支援が必要な人を把握しよう
 - ・要援護者名簿の活用、日ごろからのゆるやかな見守り



3 地域みんな健康づくり

具体的な活動

- 1 地域資源を活用して健康づくりの活動をしよう
 - ・地域の福祉施設・病院、企業からの出張講座
 - ・保健活動推進員との連携
- 2 高齢者の集まる場や機会を増やしていこう
 - ・カラオケや健康麻雀等、趣味や特技を活かした活動、食事会等
- 3 地域の日常的な活動に積極的に参加するとともに皆さんへ声かけしよう
 - ・ラジオ体操、レクリエーション、運動会等
 - ・ご近所さんを誘ってウォーキングに参加



納涼仮装盆踊り大会

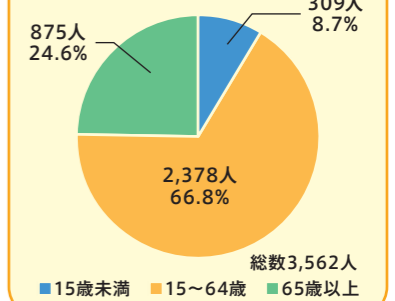


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川に面したエリアで、南北にJR鶴見線が走っています。工場跡地などにマンションや戸建てが建ち、転入者が多い地域です。近年は高齢者施設や医療機関なども建っています。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- 令和6年11月27日に開催した「あいねっと懇談会」において、現在取り組んでいることの再確認と今後取り組んでいきたいことについて、地域みんな意見交換を行いました。



共有した内容をシートにまとめ、第5期計画をつくりあげていきました。

これまでの計画(第4期)の振り返り

地域みんなつながろう

- 目標① 地域みんなつながろう
- 目標② 人のつながりで災害に強いまちにしよう
- 目標③ 地域みんな健康づくり



★これまでの活動

- ・体育祭：未就学児から高齢者まで楽しめる競技やお楽しみ抽選会の企画を実施
 - ・納涼仮装盆踊り：2日間に渡って開催し、2日目は仮装で盆踊り。中学生も出店のお手伝い
 - ・連合防災訓練：消火栓からホースをつないでの放水体験も実施
 - ・Machi-Kirei (マチ・キレイ) イベント：3人1組のチームで地域のごみを拾い、拾ったごみの重さを競争
 - ・出前福祉講座：病院や企業が地域へ出張して健康や福祉に関する講座を開催
 - ・特養ホーム「しょうじゅの里小野」と行事を通じた交流
- ⇒これらの取組みについて年6回発行の広報誌「しゃきょうだより」で特集し、アンケート結果を周知





キャッチフレーズ

人とひととのつながりを大切に育てます。

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域みんなで手をひろげ ～つながりの維持～

具体的な活動

- 1 地区内で活動している団体の連携をより進める。
- 2 子ども同士や大人と子どもが世代間で交流する機会を増やす。
- 3 多くの人が地域活動に参加し、もっと顔見知りが増えるようにする。



こどもフェスティバル

2 地域の中で声をあげ ～活動の継承・活性化～

具体的な活動

- 1 地域行事を通して、子どもたちに地域の伝承を伝える。
- 2 小学校・中学校と連携し、子どもが行事に参加したいと思える情報発信を行う。
- 3 掲示板を活用し、自治会・町内会、地区活動を広く届ける。



蛇も蚊も祭り

3 地域みんなが健やかに ～健康活動の促進～

具体的な活動

- 1 お祭りやスポーツなど、世代を超えて一緒に楽しめる活動を継続する。
- 2 既存の定期的な活動をさらに活性化し、新たな参加者を増やす。
- 3 みんなが気軽に集まれる「場」を作り外出する機会を増やす。



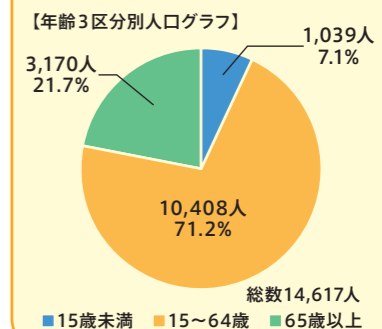
グラウンドゴルフ大会



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見区南西部に位置しており、京急生麦駅や花月総持寺駅が最寄り駅です。旧東海道や魚河岸通りなど、昔からの街並みやお祭りが残る地域です。また、ビール工場なども近くにありま



第5期計画はこのようにつくりました

- 第4期計画の振り返りを行いました
令和6年9月14日に生麦地域ケアプラザで開催された生一連絡会において、第4期計画の振り返りを行いました。その中で、一つ一つの活動を長く続けることが大事であり、活動目標についても継続していく方向性を確認しました。
- 第5期計画素案の意見交換を実施し、確定しました
令和7年6月21日の生一連絡会で、第5期計画の素案についての意見交換を実施し、出された意見を反映し、生麦第一地区の計画を確定しました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

人とひととのつながりを大切に育てます。

目標① 地域みんなで手をひろげ ～つながりの維持～

こどもフェスティバルにて、あいねっとの普及啓発のためブースを実施しました。ふれあい昼食会は配食形式からコロナ前の会食形式で再開し高齢者の交流の場となっています。にこにこサロンも子育て中の親子の集い場として知られています。

目標② 地域の中で声をあげ ～活動の継承・活性化～

地域行事である蛇も蚊も祭りや杉山神社例大祭などがコロナ禍を経て再開しています。なまいちじゃん（地区社協だより）を通じて地域情報や行事の様子など情報発信を行いました。

目標③ 地域みんなが健やかに ～健康活動の促進～

あいねっと・親睦グラウンドゴルフ大会、あいねっとサッカー教室などスポーツを通して交流の場を設けました。また、ふれあいの家で行っている夕暮れラジオ体操の参加者が増えています。



キャッチフレーズ

みんなの笑顔が みんなの健康が なまに (生麦第二地区の愛称) の元気の源

第5期計画で力を入れたいこと

1 住みなれたまちで、みんなの健康と笑顔があふれる暮らしを

具体的な活動

- 1 声かけや挨拶を通じた交流・見守り
(例: 近所付き合い、小学生の登校時の見守り)
- 2 各町内会での活動を通じた繋がりづくりと健康づくり
(例: 地域サロン、高齢者の食事会、子ども向けの活動、ラジオ体操、バス旅行、話し合いの場づくり)
- 3 地域に暮らす誰もが居心地の良さを感じる住みやすい環境づくり
(例: 公園や緑道の清掃・花壇整備、自宅そばやごみ集積場の清掃、分別啓発 等)



健康測定会

2 まもろう みんなで安心して暮らせるまち

具体的な活動

- 1 ひとり1人が防災への意識を高く持ち災害に備える強いまち【自助】
(例: 備蓄品の準備など日頃からの備え)
- 2 災害時、要援護者をはじめ隣近所で見守り、助け合えるまち【共助】
(例: 要援護者を普段から見守る仕組みづくりと必要な情報の共有、「無事タオル」の配布、要援護者の防災訓練の参加、ふれあい防災訪問)
- 3 身近なところから防犯・防災・防火活動の取組みを継続していこう
(例: 【防犯】 特殊詐欺への対応、防犯パトロール、社会を明るくする運動【防災】 防災訓練)



社会を明るくする運動

3 子どもから高齢者までみんながまちのいない手(主役)に…

具体的な活動

- 1 イベントや集まりを通して多世代・多文化で楽しく交流できるまち
(例: 健民運動会、ポッチャ・モルック大会、地域のお祭りへの参加)
- 2 町内会活動の普及啓発と地域活動を次世代にバトンタッチ
(例: 町内会活動のPR、子ども向けの活動を増やす、学校との連携)
- 3 地域情報に関わる情報の『伝達』と『共有』の工夫
(例: 掲示板・回覧板に加え、自治会HP・メール・SNS等のデジタルツールの積極的な活用)



モルック大会



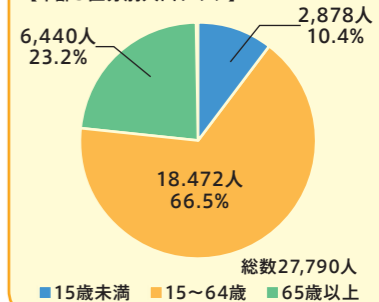
学援隊

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

国道、線路が地区を横断しています。東寺尾地域は緑地が多く、海側の生麦地域には下町の風情が残り、町ごとに雰囲気の違いがあります。地区の大半は住宅地で、マンションや戸建てが増えていきます。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのように取り組みました

- 地区懇談会での意見
【令和6年9~10月】自治会・町内会単位で第4期計画の取組みを振り返り、アンケートを作成【令和6年11月】アンケートを共有
【令和7年1月】あいねっと地区計画意見交換会: 地域の皆さんと、「目標1 住み慣れたまちで、みんなの笑顔あふれる暮らしを」について、「いま取り組んでいること」「今後取り組みたいこと」をテーマに意見交換をしました。
- ひがてらフェアでアンケート実施
令和7年3月 広く地域の皆さんの声を聴くため、「これからの生麦第二地区、どんな町になってほしいですか?」をテーマにアンケートを集めました。
大人は①イベントの充実、②地域のつながり、③住みやすい環境、④コミュニケーションの促進、こどもは①お祭りの開催、②交流の場、③楽しい環境づくり などの意見を多くいただきました!



地区懇談会



ひがてらフェア

これまでの計画(第4期)の振り返り

みんなの笑顔が みんなの健康が なまにの元気の源

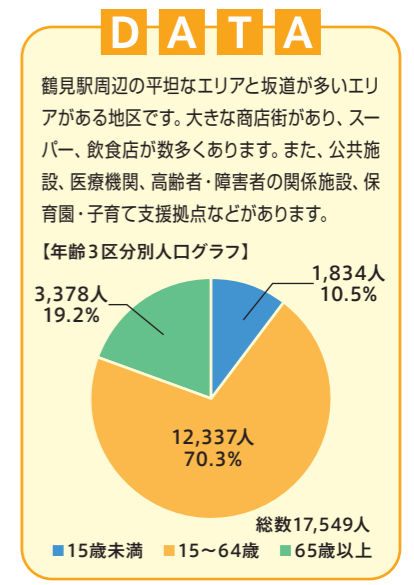
- 目標1 住みなれたまちで、みんなの笑顔あふれる暮らしを
- 目標2 まもろう みんなで安心して暮らせるまち
- 目標3 子どもから高齢者までみんながまちのいない手(主役)に

これまでの活動

- ・見守り、声かけ活動 ・ウォーキングやラジオ体操、サロン活動 ・各清掃活動、花壇整備等
- ・防災拠点訓練、防災マニュアル作成 ・要援護者に関する活動 ・各種のイベント
- ・防犯パトロール、社会を明るくする運動 ・子どもの活動の交流・連携 ・情報発信の工夫



豊岡地区連合運動会



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

キャッチフレーズ

はぐく つながりが育む、安心と健康のまち豊岡

第5期計画で力を入れたいこと

1 人とのつながりを大切にできるまちにしよう

具体的な活動

- 積極的にあいさつをして、顔の見える関係づくりをさらに広げよう。住民同士のふれあいの場を大切にしていこう。 例：お祭り、豊岡もくもく食堂、豊岡ハロウィンイベント
- 清掃やごみ出しなど日常生活での関わりや、まち歩き、地域行事などをきっかけに、まちの良いところを再発見し、交流を進めよう。
- 各自治会町内会の取組みを共有して、お互いに取り入れて活動を広げていこう。



2 多くの人々が安全・安心だと感じるまちづくりを進めよう

具体的な活動

- 学校等とも連携し、地域みなんでお互いに見守り合っていこう。 例：学童の下校時見守り活動、防犯パトロール
- 日ごろから防災・減災への意識を持ち、世代間交流を深めながら自然災害等に備えよう。 例：豊岡地区防災訓練、「無事ですカード」の活用、ペットの飼い主同志の連携による避難訓練



3 心も身体も健康になろう

具体的な活動

- 外に出て、人とのつながり、心も身体も健康になろう。 例：豊岡ふらっとカフェ、元気づくりステーション、地区連合運動会、体操教室
- 食を通じた健康支援に取り組める機会をつくろう。 例：口腔ケア（歯の健康づくり、感染予防）、口腔体操、豊岡もくもく食堂、めぐみの朝ごはん



第5期計画はこのように取り組みました

第4期計画について、3つの目標ごとに「達成できたこと」「今後取り組みたいこと」「課題と感じていること」について、町内会ごとに意見交換を行いました。感染症の流行により、十分な活動が難しかったという声がある一方で、「制限のある状況下でも実現できた取り組みがあった」との前向きな意見も多く寄せられました。

また、世代間交流の促進やファミリー層への働きかけを通じて、地域の魅力をさらに高めていきたいという意欲が示され、第4期の目標に対する“再挑戦”への思いが共有されました。



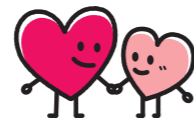
これまでの計画（第4期）の振り返り

みんながつながるまち豊岡

目標① 笑顔であいさつして交流の輪を広げよう
学校と地域が連携するなど、世代間交流を通じてつながりを深める活動ができた

目標② 安全・安心な町づくりを進めよう
防犯活動を通じて顔の見える関係が築け、安心感が得られた

目標③ 心と身体の健康づくりを行おう
目的に合った運動ができ、心の健康も保たれ、世代の広がりにも希望が持てた



キャッチフレーズ

ふんわりとしたつながりで 互いに認め合い 誰もが輝けるまち 寺尾

★これからは育った福をたくさん実らせましょう

第5期計画で力を入れたいこと

1 笑顔がみえるつながりを大切に、すべての人を認め合い 地域みんなで安心・安全なまちづくりを進めよう!

具体的な活動

- 「無事ですシール」「安心ホルダー」を活用した見守り・防災への取組を継続しよう。
- 福祉保健講座等を開催し、相互理解を深めていこう。
例：講座のテーマ 障害の理解 多様性の理解 など
- 地域の声を聞き、身近なことから取り組んでいこう。
そして、活動を応援しよう。
例：てらっちーみんなの会（子育て・高齢者支援団体懇談会）



2 多様な個性を認め合い、誰もが笑顔で健康に過ごせるまちにしよう!

具体的な活動

- 行事・イベントを通じて幅広い世代と交流し、お互いを知ろう
例：お祭り、健康イベント、ウォークラリーイベント など
- 地域の活動団体の交流や情報交換を通じて、活動の成果や気づきを発信していこう。
例：あいねっと寺尾地区懇談会
- 地域の多様な人や団体がつながり、コラボレーションした活動を考えていこう。例：町内会、学校、福祉施設、子育て支援団体

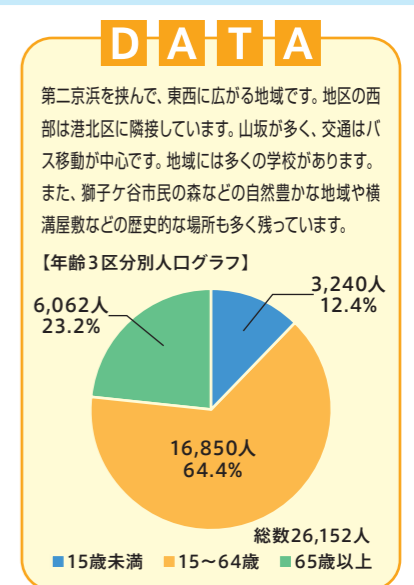


ウォークラリーイベント



横溝屋敷の鯉のぼり

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。



第5期計画はこのように取り組みました

3月26日（水）に地区懇談会を開催しました。
町内会役員の皆さんや子育て支援団体、特別養護老人ホーム、障害者支援施設のほか、近隣の小中学校の先生方や旭キッズ愛護会の小学生の皆さんなど、様々な分野で活躍する総勢35名の皆さんに参加いただきました。第4期計画に関わる6つのテーマに分かれて現在の活動や今後取り組みたいことについて話し合いました。テーマは「高齢者」「子育て」「障害理解」「多世代交流」「防災・見守り」「寺尾に住むことがうれしいと思うようになるためには」で、各グループで活発な意見交換が行われました。
地区懇談会の意見をもとに、町内会会長と支援チームで話し合って目標案を策定し、7月の連合会で皆さんの承認を得ました。



これまでの計画（第4期）の振り返り **ふんわりとしたつながりで、絆を強めよう！みんなが寺尾の応援団**

目標① 笑顔がみえるつながりを大切に、地域みんなで安心・安全なまちづくりを進めよう!

福祉保健講座の開催、子育て支援団体懇談会等の実施により、地域のつながりを深めました。また、安心ホルダーや「無事です」シールの活用を進めています。

目標② 幅広い世代で地域の活動に参加し、地域みんなで楽しく健康に過ごせるまちにしよう!

コロナ禍を経て、各町会で多くの交流行事を再開し、地区懇談会も再開できました。旭小学校有志の子どもたちによる「旭キッズ愛護会」の取組は、あいねっと推進フォーラムでも発表されました。



キャッチフレーズ

みんなの思いや 心が見える まちづくり

第5期計画で力を入れたいこと

1 思いやりや 心づかいを行動に移して つながるまちに

具体的な活動

- 1 地域の子どもの声や、取組を実現する「地域と何ができる会」の開催と継続
地域活動「LCT! (Let's Clean Tsurumi)」の拡大
- 2 多世代交流会を開催し、子どもたちを地域で見守り育てる
「学んでご飯」、集いの場所「はな♡そうカフェ」の充実
- 3 地域の見守り活動を、一人ひとりに知ってもらう
声かけ缶バッジ、自治会・町内会による様々な取組や見守り活動



はな♡そうカフェ

缶バッジ



2 お互いに認めあい 支えあいながら 地域力を高めよう

具体的な活動

- 1 世代を超えた連携で、防災意識を高める
各自治会・町内会で実施する防災訓練
- 2 多世代の交流を通じて、安全で安心して暮らせる私たちの町に
お楽しみ福祉大会、若いも若きも健康づくり
- 3 障がい理解し、誰もが暮らしやすい町に
障がいの理解講座による啓発



防災拠点訓練



お楽しみ福祉大会

第5期計画はこのようにつくりました

- 1 第1回～第3回寺尾第二地区あいねっと準備会（2月～4月）
地区社協会長、副会長、事務局長と計画案の検討を重ねる
- 2 寺尾第二地区懇談会（令和7年6月16日）
自治会・町内会長や民生委員児童委員の皆様と意見交換を実施
- 3 第3回地域と何ができる会（令和7年7月18日）
小・中学校の児童や生徒と地域のために何ができるか意見交換



あいねっとに関するご意見箱



赤門まつり



桜まつり



鶴見配水池（通称ねぎぼうず）

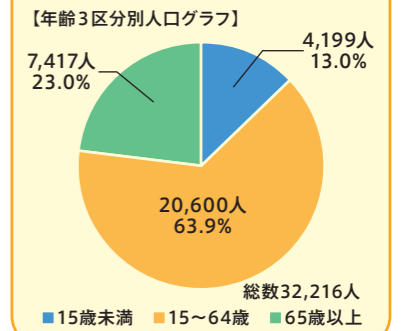


せせらぎ緑道

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

北西部に位置し、寺社や史跡などの歴史資源や自然に恵まれた住宅地です。山坂が多く、交通はバスが中心です。近年、戸建てやマンションが建設され、子育て世帯が増えています。馬場地域ケアプラザが地域活動の中心になっています。



これまでの計画（第4期）の振り返り

世代を超えて未来につなごう 地域の輪

コロナ禍で、これまで行われていた行事などが中止になる中、小・中学生にアンケートを取ってみると、行事などに対する記憶が薄れていることが浮き彫りにされました。また、主催者側も行事開催のノウハウの引き継ぎなどがうまくいっていないことがわかりました。

目標① 思いやりで若いも若きも支え合おう

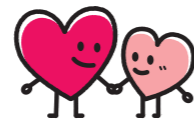
- ・「地域で何ができる会？」で、子どもたちの要望が多かった“みんなが自由に憩える場が欲しい”に応えるべく“はな♡そうカフェ”（なんでもはなせる、地域がよりそう場）の開催の提案をし、子どもたちの意見を最大限取り入れたカフェを立ち上げました。
馬場地域ケアプラザ全館に子どもたちの声や、地域の人の交流が行われています。
- ・3種類あった缶バッジのデザインを統一しわかりやすくしました。
- ・向こう三軒両隣近所同士の力を借りて見守り活動の強化を目指し、連合内で「地域つながり活動連絡会」（通称：つな連）を開催して、互いの自治会・町内会の良いところを取り入れました。
地域の見守りは、各自治会・町内会で組織を立ち上げ、年間数回の連絡会議を実施し、見守りマップを作成し、日ごろからの見守りを強化しました。

目標② 誰もが絆を深めて、地域力を高めよう

- ・中学生と取り組む地域清掃「LCT! (Let's Clean Tsurumi)」が発足しました。地域の上の宮中学校の福祉委員が中心となって考えたLCT!は、清掃しながら自然や歴史にも関心を持てるよう「寺尾奉行マップ」を利用したスタンプラリーを取り入れました。
- ・地域と子どもたちの距離が縮まり、防災訓練や認知症の症状の理解や対応方法について共に学習する「認知症サポーター養成講座」の実施など活動の範囲が広がっています。
- ・障がいに対する理解を共有し共に住みやすい環境が作れるようにする第一歩の「障がいの理解講座」を実施しました。



LCT! (Let's Clean Tsurumi)



キャッチフレーズ

地域みんなでつながる町 駒岡

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域のつながりを充実させよう

具体的な活動

- 1 誰もが参加できる防災活動を行います。
- 2 行事やスポーツ（水鉄砲・モルック）等を通じて、多世代の交流を進めて地域のつながりを充実させます。



2 今よりもっと地域の情報が入りやすい町にしよう

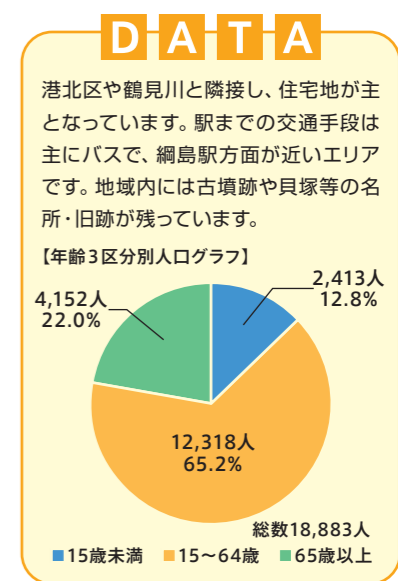
具体的な活動

- 1 地域の情報がより多くの人に届くように、住民と地域の団体（高齢・障害者・児童関係施設等）がつながる機会を大切にします。
- 2 今後も読み手に合わせた、情報発信の方法を検討します。



駒岡地区連合盆踊り大会（子ども太鼓）

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。



第5期計画はこのようにつくりました

令和6年11月22日（金）駒岡地区センターにてあいねっと駒岡地区懇談会を開催しました。町会・民生委員・主任児童委員・保健活動推進員・消費生活推進員・子ども会・PTA・障害者施設・高齢者施設・親と子のつどいの広場・婦人部・支援学校・スポーツ推進員など駒岡地区に関係するさまざまな方が計20名参加されました。

グループワークにて『現在、行っている取組』『今後続けていきたい活動』『これから取り組んでいきたいこと』などについて話し合いました。

この話し合いをもとに令和7年2月12日、6月19日に駒岡地区懇談会（コア）で振り返りながら作りました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

地域みんなでつながる町 駒岡

目標① 地域のつながりを充実させよう

様々な人が参加する防災活動（障害児者・福祉施設の参加、小学生が役割を持って参加）
お祭りや行事を通じてのつながり（盆踊り・節分豆まき）
想いが集まり寄付につながる活動（フードドライブ）
新たな居場所の創出（カフェ燦々）

目標② 今よりもっと地域の情報が入りやすい町にしよう

掲示板の有効活用：あいねっと地区懇談会での各団体での取り組み情報共有



キャッチフレーズ

つながる 安全安心なまち 上末吉

第5期計画で力を入れたいこと

1 隣近所で顔の見える関係をつくろう

具体的な活動

- あいさつや声かけでご近所とつながり、地域みんなで子どもを見守ります。
- 見守りの中で“気づき”・“つなげる”を気軽にできるようにしよう。

【一人暮らし高齢者の食事会】

子どもたちの見守り



2 地域と学校・施設等のつながりを充実させよう

具体的な活動

- 地域と学校・施設等が連携し、地域活動に取り組もう。
【防災訓練への児童の参加、保育園や親と子のつどいの広場等との交流】
- みんなで役割分担して、楽しいイベントを企画し、幅広い世代で交流しよう。
【ポッチャなどのスポーツイベント など】
- 発災時に備え、既存の行事の中に防災をテーマに取り入れよう。
【歩け歩け大会での炊き出し】



ポッチャ大会

3 地域活動に興味を持つ人を増やそう

具体的な活動

- 地区のイベント情報を共有し、発信しよう。
【地区社協だより など】
- 各団体の垣根を超えてアイデアを出し合い、よりよい地域活動を考えよう。
【上末吉あいねっとの会 など】



地区社協だより

令和7年3月に鶴見川人道橋開通

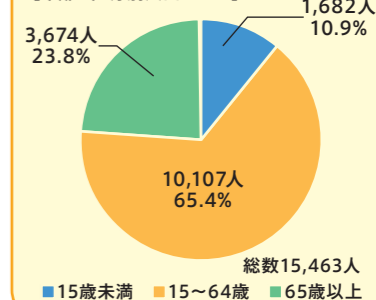


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見川や三ツ池公園に隣接しており、自然環境に恵まれた地域です。主な交通手段はバスで鶴見駅方面や綱島・新横浜駅方面にも移動できます。末吉地区センターが近くにあり、地域活動の拠点になっています。

【年齢3区分別人ログラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

●上末吉地区「上末吉地区あいねっとの会」令和7年3月14日 開催

地域をはじめ、学校関係者、子育て支援など地域で活動する団体など32名の方々にご参加いただきました。

5グループに分かれて、防災、見守り（子ども、高齢者）、交流、まちの魅力アップ、人材育成・発掘などをテーマに「5期計画に向けて 5年間の具体的な取組「続けていきたいこと」「これから出来そうなこと」」について有意義な意見交換の場となりました。

どのグループでもこれからの上末吉地区の発展に向けた前向きな意見が出ました。それらの意見を基に、町内会長をはじめ地域の方とともに計画策定に向けて話し合いを行いました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

まわりが見える住みよいまち 上末吉

目標① 既存の行事や活動を充実させて、世代をこえたつながりをつくろう

- ・三ツ池フェスティバルやポッチャ大会など、多世代交流を深める場をつくりました。
- ・フレイル予防や交流のため、歩け歩け大会でのウォーキングを実施しました。

目標② 日頃の交流を深めよう

- ・小・中学校、ぼんぼり広場や親と子のつどいの広場 coronなどの交流の場をつくりました。
- ・掲示板の活用や地区社協だよりで情報発信を行いました。

目標③ 気軽なあいさつから、見守り・支え合いの輪に広げよう

- ・民生委員等による日頃の見守り活動に加え、4年ぶりに「敬老のつどい」を開催しました。
- ・コロナ禍でも工夫して地域防災拠点訓練や一人暮らし高齢者食事会などを継続して実施しました。
- ・上末吉あいねっとの会で「生活困窮」をテーマにした勉強会を実施しました。



キャッチフレーズ

ともに つながる 下末吉

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域みんなでつながりあえる、下末吉を目指そう

具体的な活動

- 1 日頃からのあいさつや声かけ・見守りから、防災に強い地域のつなぐりづくりをしていこう。
- 2 子育て世代が地域とのつなぐりを持つきっかけとなるよう「楽しい」イベントを考えていこう。
- 3 地域と学校のつなぐりを充実させて、多世代が支え合う地域にしよう。



ドッジボール大会

2 地域の中で、より情報を共有できる仕組みを考えよう

具体的な活動

- 1 地区フォーラムを開催し、地域住民、施設、活動団体と課題や情報を共有していこう。
- 2 情報発信や防災の取組の視点でも学校・保育園等と地域のつなぐりを充実させよう。



一人暮らし高齢者会食会「寿々め会」

3 地域に興味をもつ人を増やしていこう

具体的な活動

- 1 地域の行事を通じて、子どもたちの「ふるさと愛」をそだてよう。
- 2 地域のつなぐりを広げ、地域活動へ声かけあって誘い合って、参加してみよう。
- 3 地域にある福祉施設や活動団体との交流を通じて、高齢者・障がいのある方等への理解をより深めていこう。



敬友の集い



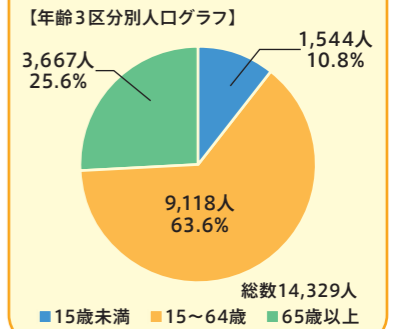
納涼大会



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在) ※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

幹線道路の鶴見溝ノ口線が南北に、第2京浜が東西に伸び、鶴見川に隣接しています。平坦な地形と山坂の地形があるエリアです。交通手段は主にバスで、鶴見駅、綱島や川崎方面にも移動可能です。大きな病院や製菓工場が近くにありま



第5期計画はこのようにつくりました

- 下末吉地区あいねっと地区フォーラム 日時：令和6年11月29日 場所：下末吉小学校 参加50人
①防災 ②見守り・つなぐり ③情報発信・共有 ④多世代交流の4つのテーマで意見交換を行いました。
- 下末吉地区あいねっとの会 日時：令和7年6月11日 場所：下末吉会館
キャッチフレーズ、目標について話合いました。「ともにつながる」は、地域で生活する人、施設、団体、学校等すべてが繋がっていくことです。



これまでの計画（第4期）の振り返り

さらに“つながる”まち下末吉を目指して

目標① 地域みんなでつながりあえる、下末吉を目指そう

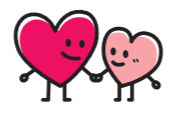
【見守り】民生委員さんによる見守り活動でのつなぐり 【防災】コロナ禍でも工夫して地域防災拠点訓練を実施
【交流】お祭りや行事を通じてのつなぐり(三ツ池公園フェスティバル、盆踊り大会、ドッジボール大会、祭礼)
下末吉小学校創立70周年を記念して、児童が盆踊りで「下小音頭」披露、連合・地区社協共催の福祉バザーの開催
【居場所】地域の居場所、サークル活動等(寿々め会、ダンボの会) ※地区社協が支援

目標② 地域の中で、より情報を共有できる仕組みを考えよう

毎年、様々なテーマで地区フォーラムを開催し、地域の思いや次の一歩に繋がるアイデアを共有

目標③ 「担い手」が活躍し、「場の活用」ができる活動を充実させよう

【新たな活動場所】地区フォーラムの開催場として、下末吉小学校のご厚意のもと体育館をお借りして実施



キャッチフレーズ

支えあう・助け合う町 江ヶ崎

第5期計画で力を入れたいこと

1 子どもが健全に過ごせる場づくり

具体的な活動

- 1 年少人口の増加に伴う多様化した居場所づくり。
- 2 子育て中の親への支援の充実と交流の支援。
- 3 新しい世帯や地元中学生などに地域活動への積極的な参加を促し、親世代へと活動の輪を広げる。



2 世代を超えた住民間の交流

具体的な活動

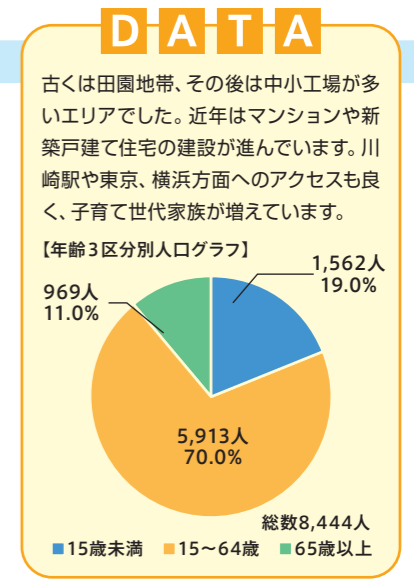
- 1 様々な地域行事により多世代の住民の参加と交流を広げる。
- 2 イベントなどを「きっかけ」に顔の見える関係を築き、それとともに運営への参画を促す。
- 3 総合防災訓練などを通じて災害に備えると共に、共助の働きかけを促進する。



3 誰もが参加しやすい環境・見守り

具体的な活動

- 1 ホームページなどを活用し、誰にでも伝わるよう、地域の情報発信について工夫する。
- 2 楽しく・気軽に・誰でも参加しやすい場や環境を整え、日ごろから交流・見守り・健康づくりを促進する。
- 3 あいさつ運動をさらに浸透させ、住民間の交流を深める。



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

第5期計画はこのようにつくりました

● 推進協議会にて、第4期の振り返りと第5期計画策定に向けてのグループワークを行いました。地域の皆さんの活動の中で「できていること・取り組んでいること」や「課題に感じていること・こうなったらいいなと思うこと」など活発な意見交換を行いました。

【主な意見】

地域行事へ新しい世帯や子供を呼び込みたい／イベントは中学生の手伝いや参加も多いので、運営に関わってくれれば嬉しい／広報用フェイスブックの一層の有効活用ができればいい。



これまでの計画（第4期）の振り返り

支えあう・助け合う町 江ヶ崎

目標① 子どもが健全に過ごせる場づくり

毎月第2火曜日に開催する子育て広場は、子どもの居場所づくりになっています。クリスマス会、かるた大会など様々なイベントを行い多くの子どもが参加しました。

目標② 世代を超えた住民間の交流

サマーフェスティバル、総合防災訓練、家族大運動会、もちつき大会などの行事には、多世代にわたる方々が参加し、交流の場となっています。

目標③ 誰もが参加しやすい環境・見守り

地域が作成している「江ヶ崎の防災」を8年振りに改訂し、全世帯に配布しました。回覧板、掲示板、フェイスブック運営で、情報発信を行いました。小学校・中学校の入学式でのあいさつ運動を実施し顔の見える関係づくりをすすめました。

第5期鶴見・あいねっとの策定経過

第4期計画の「推進の土台」ではすべての地域活動を充実させる共通の要素を推進の柱から抽出・設定し、各地区や区役所、区社協、地域ケアプラザそれぞれの取組を推進してきました。

第5期計画策定に向けては、検討の場を設け第4期計画の基本的な考え方を継承しながら「推進の土台」をそれぞれの柱に吸収しました。また、大切にしたいキーワードを出し合いながらどんな地域をめざしていくのかをまとめました。

第4期計画の振り返り（推進委員会・策定検討プロジェクト+区・区社協・地域ケアプラザ）

柱Ⅰ つながりのある地域づくり キーワード 交流・多様な主体 土台 人材

具体的な取組

- 1 コロナ禍以降は、実施形態を工夫しながら、イベント、地域交流の取組が行われています。一方で、担い手の高齢化や担い手不足により活動が終了した団体や、今後の継続に不安を感じている団体もあります。
- 2 各種連絡会への民間企業の参加や、若い世代の参加、新たな団体・世代とのつながりが生まれています。また、地域と学校と一緒に地域活動に取り組む地域が増えており、子どもの意見を地域活動に生かしていく視点が広まっています。
- 3 地域や関係機関が連携しながら、地域の担い手を増やすための講座や研修会を実施しています。

柱Ⅱ 必要なときに支援が届く地域づくり キーワード 支えあい・見守り 土台 相互理解

具体的な取組

- 1 認知症カフェや介護者の集いなど、当事者や家族の孤立予防につながっています。子ども食堂や地域食堂など、新たな居場所も増えています。地域情報の発信には、様々な人に必要な情報が届くよう工夫しています。
- 2 災害時要援護者名簿の活用や地域独自の見守りツールの活用、小学生の登下校時の見守り活動など、地域ごとに工夫して見守りのすそ野を広げています。
- 3 認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト連絡会への参加、自立支援協議会などを通じた権利擁護の取組、消費者被害に関する講座の開催など、権利擁護のための取組が進んでいます。

柱Ⅲ 健やかに暮らせる地域づくり キーワード 健康 土台 場・機会

具体的な取組

- 1 フレイルや閉じこもり予防講座が開催されました。また、土曜開催や託児付講座など、どのような世代でも健康づくりに参加できる工夫をしながら企画されています。また、学校と連携した子どものころからの健康づくりを考える取組も進められています。
- 2 障害の有無にかかわらず、誰でも参加できるスポーツのイベントが実施されています。大学生と実施したイベント等、若いころから健康づくりに関わるきっかけとなりました。
- 3 ボランティア活動等のニーズが多様化しています。住民のそれぞれの力を生かす場づくりや機会づくりに取り組みました。

第5期計画に向けて

<大切にしたいこと>

将来をつくる子どもの意見を取り入れよう！

積極的に地区の情報を発信して、子ども、子育て世代に参加してもらい、つながるきっかけを作ろう。

企業や事業所等の力にも頼りながら、高齢化・担い手不足が解消できるといいな。福祉分野をこえたつながりを考えよう。

協力してもらえそうな団体と、地域の様々なニーズを結びつける「つなぎ役」がいるといいな。

★子ども・学校・若い世代
★分野をこえたつながり
新しいつながり方・つなぎ役
★つながり・交流の場
★高齢化・担い手不足

多様な人や団体が参加し、つながっている地域



<大切にしたいこと>

支援が必要な人が相談につながるよう、様々な居場所があって必要な支援につながるといいな。支援者同士の連携も大切だね。

日ごろからあいさつができる関係であれば、気にかけてもらったり、見守られている安心感があるよね。

地域には外国にルーツがある方、障害がある方、性的マイノリティの方など様々な背景がある人がいることを理解しておく必要があるね。

★困っている人に気づく・情報が届く
★おたがいさまの関係
★一人ひとりの多様な背景
★縦割りではない相談支援

困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域

<大切にしたいこと>

誰もが参加したいと思える健康づくり講座や居場所があるとよいな。

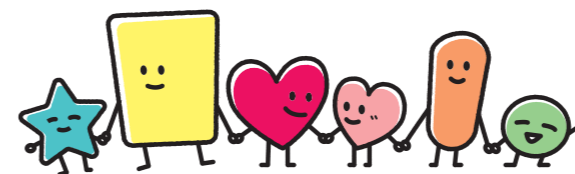
健康づくりに興味をもってもらうために、また子どものころから健康意識を高めてもらうために、企業・学校等とコラボできるといいね。

得意なことを地域で生かせる場があるといいね。自分の役割が地域の中であると健康につながるよね。

★誰でも参加できる
★楽しい内容・コラボ
★認知症の理解
★用事や役割がある=健やかでいられる

心も体も健やかでいられる地域

鶴見区では、地域の皆さんが「顔の見える関係づくり」を大切にしながら、福祉・防災・子育て・健康づくりなど、様々な分野で活躍しています。推進委員会・策定検討プロジェクトのメンバーは、こうした地域の力を結集し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、鶴見区全体の取組を考えていく役割を担っています。



自治連合会

「顔の見える関係づくり」を大切に

区内には126の自治会・町内会があり、自主的に地域福祉活動・レクリエーション活動・防災防犯活動などに取り組んでいます。

この単位自治会が地域ごとに集まって、17の地区連合町内会を形成しており、顔と顔の見える関係づくりを大切に、区民の皆さまや関係機関とともに地域の福祉・環境・防犯・防災等、様々な課題解決に取り組んでいます。



地区社会福祉協議会

自分の地域は自分たちで良くしていこう

地域住民の最も身近な福祉活動を行う団体として組織された地域住民による任意団体です。「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を目的として高齢者食事会・見守り活動・親子の集い・福祉保健講座・広報紙発行など、各地区の実情に合わせて様々な活動を行っています。



地域ケアプラザ

あなたの近くに！地域ケアプラザ

誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点となる施設です。支援を必要としている方の相談窓口やボランティア等の活動場所の提供、催しの開催などを行っています。区内を9ヶ所のエリアにわけて、地域の方とともに、地域づくりにも取り組んでいます。



鶴見区地域子育て支援拠点

「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」

ふれあい広がる子育てひろば

0歳から就学前の子どもとその保護者、妊娠中の方とご家族が利用できる、登録制・無料の子育て支援施設です。ひろばでの交流や親子のふれあい、子育て相談、情報提供などを行い、地域のつながり合いを大切にしながら、安心して子育てできるまちづくりを目指しています。



民生委員・児童委員協議会

地域の「身近な相談相手」として

区民を取り巻く環境が複雑化する中、常に住民の立場に立って人々の暮らしを支え、支援が必要な人を見逃さないよう「見守り活動」を行っています。住民と専門機関をつなぐパイプ役として、やりがいをもって活動しています。



保健活動推進員

地域の皆さんの健康づくりを応援します！

ウォーキングや体操教室、健康測定会、子育て支援など、様々な健康づくりの活動を行っています。地域の皆さんが“楽しく”健康づくりに取り組めるよう、これからも、笑顔あふれる健やかな地域を目指して、みなさんと一緒に活動していきます。



鶴見国際交流ラウンジ

多文化共生のまちづくり

多文化共生の地域づくりの拠点となる公共施設です。鶴見区多文化共生基本指針に基づきだれもが安心して豊かに生活できるよう、多言語での相談対応や情報提供のほか、日本語教室や外国につながる子どもたちの学習支援教室、未就学児の保護者向け生活ガイダンス、異文化体験イベントなどの事業を行っています。



まめっこひろば(横浜市乳幼児一時預かり事業)

♡子育て中の方が笑顔になれるように♡

【預かり保育】や親子で集まれる会の開催などを通じて、子育て家庭の応援をしています。子育て中のママが心や体が疲れてしまう前に、ほんの少しお子さんと離れ、自分を取り戻す時間を持てると余裕が生まれ少し心が軽くなって笑顔になれたりします。ママが頑張りすぎないでいられるようなお手伝いができたらと思っています。



スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツで笑顔あふれる街づくり・仲間づくり

ポッチャやソフトボールの大会では、子どもも大人もみんなが主役！笑い声が響く会場では、ハイタッチしたり、応援したりとにぎやかです。スポーツやレクリエーションを通じた、世代をこえて地域がつながる、活動をすすめています。



鶴見区老人クラブ連合会

おはようさん!!今日も元気であしたもネ ～仲間づくりを通し、生きがいと健康づくり～

高齢者の自主的な組織として生活を豊かにする楽しい活動を行っています。ポッチャ大会、バタンク大会、グラウンド・ゴルフ大会やカラオケ大会など、知識や経験を活かして長寿社会の実現や保健福祉の向上を目指しています。



つるみ地域活動ホーム幹

地域とともに心を飾る

隣接する公園に七夕やクリスマスの飾りつけを、施設利用者や地域住民とともに取り組んでいます。公園利用者からは「今年もきれいだね」といった温かい言葉もいただくようになり、こうした活動を通じて、障がいの有無に関係なく「ともに支え合う」地域づくりを今後も目指していきたいと考えています。

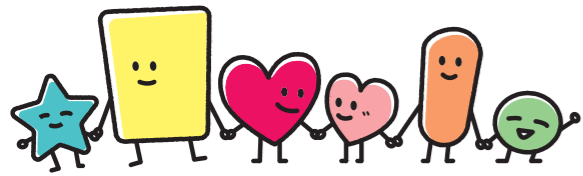


介護者の集い おりづる会

介護者の横のつながりを大切に

おりづる会は、家庭で高齢の家族を介護している人の負担を少しでも軽減するため、2000年に設立されました。介護の苦勞や悩みなどを打ち明けあうつどいの開催を通じて、介護者の心のケアや横のつながりづくりを行っています。





鶴見区視覚障害者福祉協会

会員同士だけでなく、社会とのつながりも大切に
 鶴見区視覚障害者福祉協会は、視覚障害者の生活と福祉の向上を目指して1970年に設立されました。
 映画鑑賞、カラオケ、バスハイクなどの行事や「見えない方」「見えづらい方」の相談会の開催のほか、他ボランティア団体との交流も大切に活動を続けています。



鶴見区精神障害者家族会 のぞみ

こころの病を持つ方のご家族同士の支えあい
 懇談会、バスハイク等を通じ、同じ立場の家族が話し合い、交流しています。また専門家を招いての講演会では、病気についての理解や対応の仕方を学んでいます。家族会役員による家族相談も実施しています。(毎月第2水曜日の午後2時から4時まで。鶴見区在住のご家族が対象)



鶴見区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動団体分科会

ネットワークを活かしてささえあいのまちづくり
 区内のボランティア・市民活動団体が、定例会や交流会での情報交換、スキルアップのための研修などを行っています。また、団体紹介カードを活用し、お互いの活動を知り、より一層の連携につなげています。
 例年、鶴見・あいねっと推進フォーラムで各団体のパネル展示を行い、活動の周知に努めています。



中学校

鶴見区の子どもたちが育てる「地域との絆」
 区内には10校の市立中学校があります。地域にもっと愛着を持ち、暮らしやすいまちにしていけるために、地域清掃、お祭りへの参加、地域の課題を話し合う場への参加など様々な活動に取り組んでいます。活動を通じて、「自分のまちが好き」「地域の人とつながっている」という気持ちを育てています。



株式会社メディコラボ研究所(学識経験者)

～安心して地域で暮らしつづけられるように～
 多職種や地域の方々と連携し、切れ目のない支援を大切にしています。医療を通じて、地域の「つながり」を育み、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。ご縁をいただき「鶴見・あいねっと」に20年にわたり関わっています。



一般社団法人 Omoshiro

鶴見区内にて「親子まるっと伴走支援」を掲げ、ケアが必要な家族とそこで暮らす子どもたちへの福祉サービスの調整、放課後の居場所づくりなどを行っています。
 全ての子どもの安心と希望の実現を目的に、オモシロがる大人たちとのつながりの中で挑戦していくことを日々楽しんでいきます。



鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日はつるみ～

鶴見区の「情報拠点」を目指す鶴見区特化型の情報発信サイト ※「ポータル」＝「入口」
 ジャングルや世代問わず魅力的な活動や人を取り出し情報を流通させるとともに、地域の課題解決のために顔の見えるつながりも生み出そうとイベント等も企画。
 楽しく住み続けられるまちを目指して活動しています。



一般社団法人 鶴見交通安全協会

交通事故のない安全な街づくりを目指しています。
 「はまっ子交通安全教室」等で交通指導員が子ども達に自転車の乗り方等を教える他、春夏秋冬の交通安全期間中の啓発物品の配布、ランドセルカバーの制作等を実施しております。



鶴見・あいねっと推進委員会委員 / 第5期計画策定検討プロジェクトメンバー 名簿

	氏名	所属団体等	備考
1	石井 キヨ子	鶴見区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動団体分科会 分科会長	
2	板山 重樹	駒岡地域ケアプラザ所長	
3	祝出 真紀子	鶴見区地域子育て支援拠点 「わっくんひろば」施設長	
4	押山 道代	横浜市乳幼児一時預かり施設 まめっこひろば 施設長	
5	小林 広子	鶴見国際交流ラウンジ 館長	
6	小林 政晴	鶴見区自治連合会福祉保健部長(小野町地区自治連合会会長) 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長	
7	斉藤 達之	つるみ地域活動ホーム 幹 施設長	
8	清水 和枝	鶴見区介護者の会 おりづる会 世話人代表	
9	巴 伸一	鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会 会長	
10	八森 淳	株式会社メディコラボ研究所 代表取締役(つながるクリニック 院長)	
11	日向 邦夫	鶴見区老人クラブ連合会 会長	
12	平森 義教	鶴見区中学校長会 理事(横浜市立 市場中学校校長)	
13	福井 司臣	鶴見区精神障害者家族会 のぞみ 会長	
14	増子 眞智子	鶴見区保健活動推進委員会 会長	～令和6年度
	芦澤 年子	// 副会長	令和7年度～
15	松坂 治男	鶴見区視覚障害者福祉協会 副会長	
16	宮野 昌夫	鶴見区社会福祉協議会 地区社協分科会 分科会長	
17	大野 慶太	鶴見交通安全協会 会長 東宝タクシー株式会社 代表取締役 一般社団法人全国子育てタクシー協会 会長	※
18	勝呂 ちひろ	一般社団法人 Omoshiro 代表理事	※
19	浜田 貴也	鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日はつるみ～編集長	※

※第5期計画策定検討プロジェクトのみ参加のメンバーです。 ・表記は令和7年度時点のものです。(敬称略・五十音順)

■ 鶴見・あいねっと推進委員会

第5期の方向性の確認、計画全体構成等について確認を行いました。



■ 第5期計画策定検討プロジェクト

第4期の振り返り、第5期計画に向けて新たに取組む視点等について話し合いました。

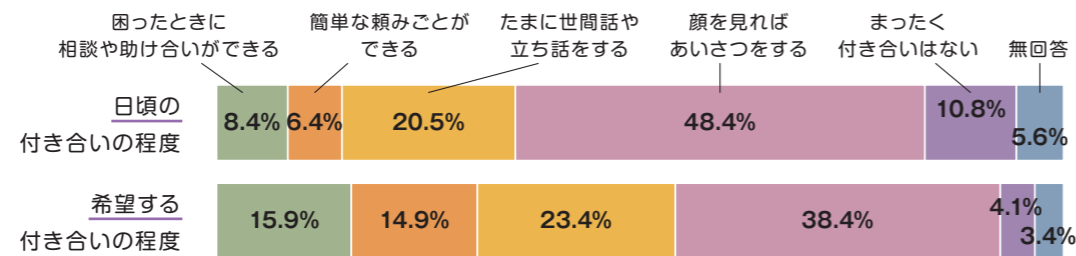


区民アンケート調査結果 (抜粋)



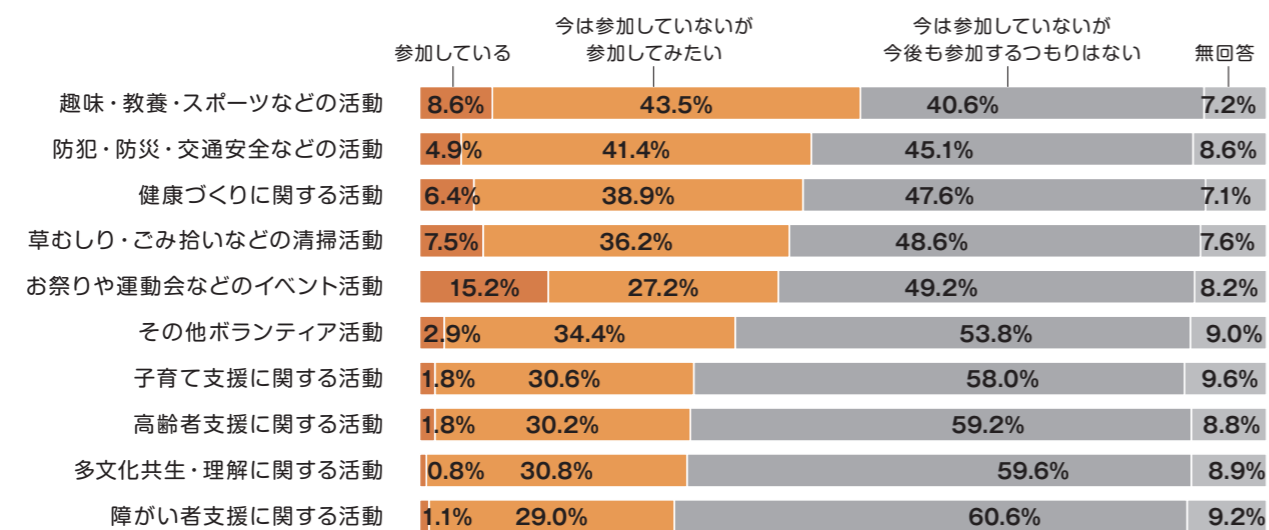
●近隣との関わりについて

日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか？ / どの程度の付き合いを望みますか？



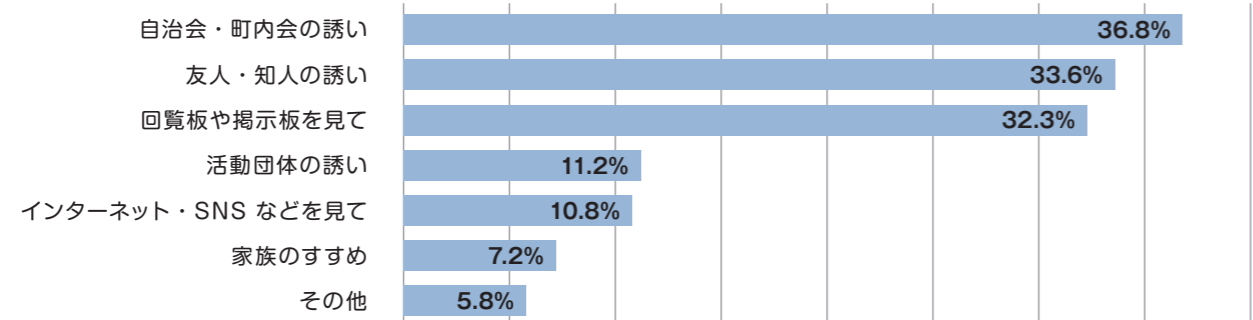
●地域活動への参加状況・参加意向

次のような活動に参加していますか？



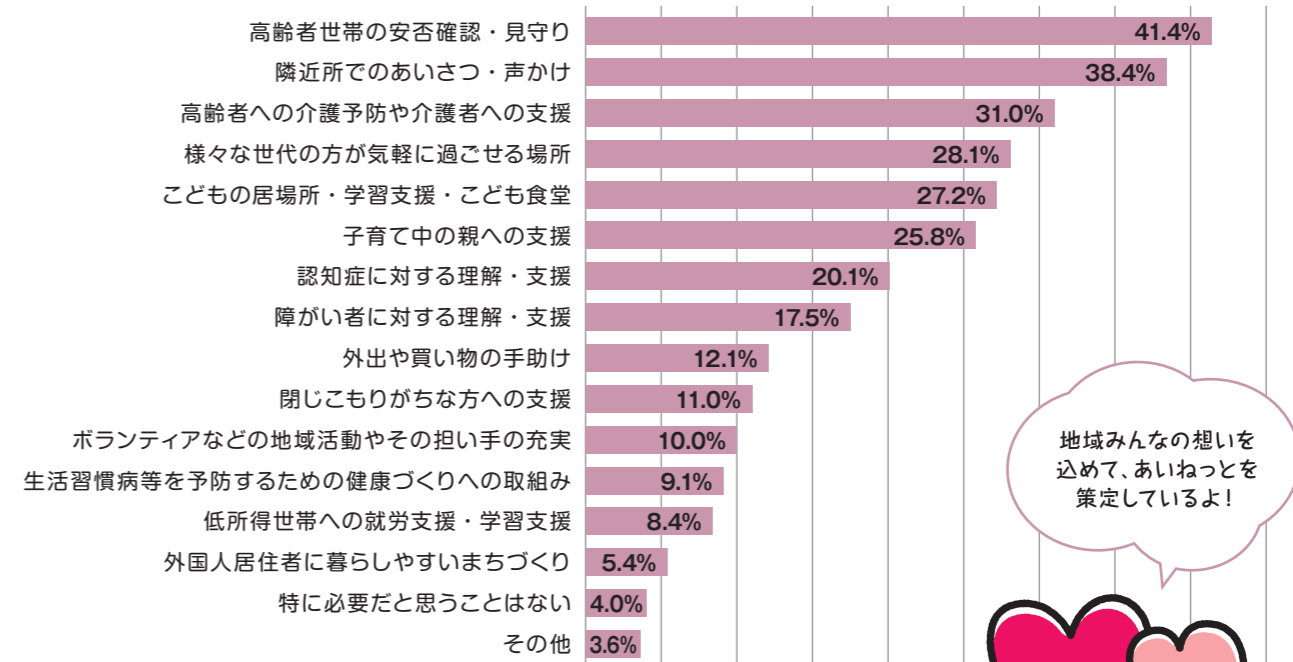
●活動に参加したきっかけ

活動に参加したきっかけは何ですか？



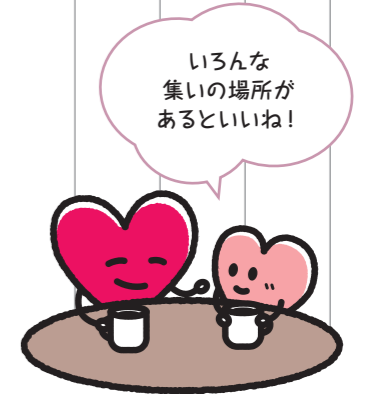
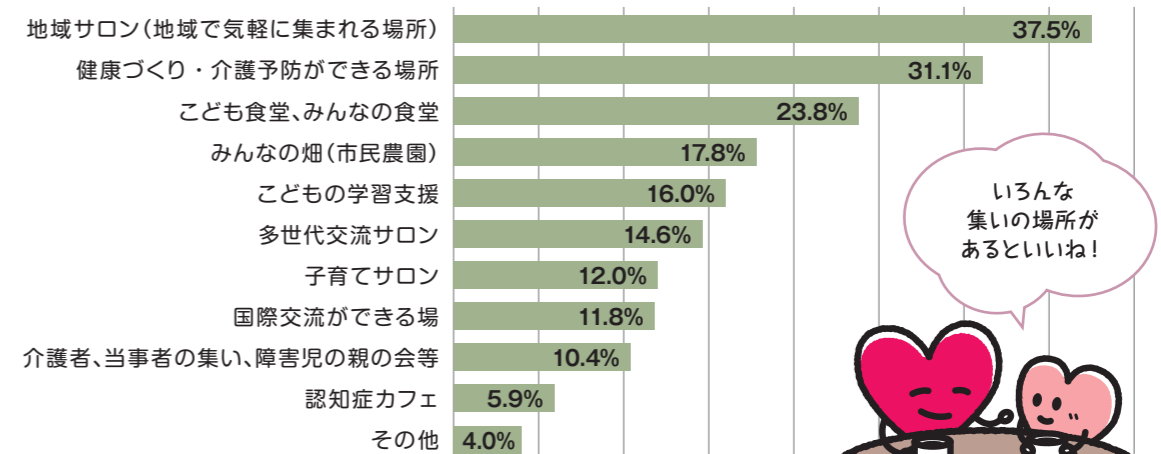
●充実するとよいと思うこと

地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？



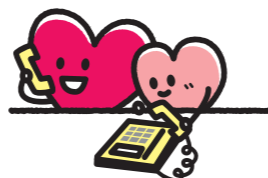
●あったらいいと思う交流の場

地域の中で、あったらいいと思う交流の場は何ですか？



令和6年度第5期
鶴見区地域福祉保健計画区民アンケート調査
詳しい結果報告書はこちら

相談先一覧



1 地域ケアプラザ (自分自身やご家族のことで不安なことがある場合の問合せ先)

施設名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
潮田地域ケアプラザ	鶴見区本町通4-171-23	507-2929	507-2930
矢向地域ケアプラザ	鶴見区矢向4-32-11	573-0020	573-0027
寺尾地域ケアプラザ	鶴見区東寺尾6-37-14	585-5566	585-5737
東寺尾地域ケアプラザ	鶴見区東寺尾1-12-3	584-0129	570-6202
駒岡地域ケアプラザ	鶴見区駒岡4-28-5	570-6601	570-6602
鶴見市場地域ケアプラザ	鶴見区市場下町11-5	504-1077	500-6677
鶴見中央地域ケアプラザ	鶴見区鶴見中央1-23-26	508-7800	508-7808
生麦地域ケアプラザ	鶴見区生麦4-6-4	510-3411	510-3018
馬場地域ケアプラザ	鶴見区馬場7-11-23	576-4231	576-4233

近隣の地域ケアプラザにまずはお電話等にてお問合せください。
地域ケアプラザの機能等について、詳しくは二次元コードでご参照ください。



《お住まいの地域の担当ケアプラザはこちら》



《地域ケアプラザ紹介》

2 鶴見区役所

施設名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
総務課	鶴見区鶴見中央3-20-1	510-1653	510-1889
区政推進課		510-1678	504-7102
地域振興課		510-1687	510-1892
福祉保健課		510-1826	510-1792
高齢・障害支援課		510-1768	510-1897
こども家庭支援課		510-1797	510-1887
生活支援課		510-1782	510-1899

相談したい内容が決まっている場合は、区役所へお問合せいただくとスムーズです。
内容によって窓口が異なります。二次元コードもあわせてご参照ください。



《鶴見区役所の業務案内》

3 福祉保健関係・拠点施設

施設名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
鶴見区社会福祉協議会 (鶴見区福祉保健活動拠点)	鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2階	504-5619	504-5616
鶴見区基幹相談支援センター (つるみ地域活動ホーム 幹)	鶴見区北寺尾4-21-20	580-5066	582-1313
鶴見区生活支援センター	鶴見区豊岡町28-4 ハーモニートよおか4階	576-3173	576-3172
鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろば	鶴見区豊岡町38-4	582-7590	582-7591
鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろばサテライト	鶴見区尻手1丁目4-51	642-5710	585-0051
鶴見国際交流ラウンジ	鶴見区鶴見中央1-31-2 シークレイン2階	511-5311	511-5312
つるみ区民活動センター	鶴見区鶴見中央3-20-1 鶴見区役所2階	510-1694	510-1716

令和8年3月 編集・発行

鶴見区役所 福祉保健課事業企画担当

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 3-20-1

TEL 045 (510) 1826 FAX 045 (510) 1792

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-37-37リオベルデ鶴声2階

TEL 045 (504) 5619 FAX 045 (504) 5616